ワードプレスの各設定の説明書（cocoon 用）

ワードプレスの各種設定の方法、意味をまとめました。
cocoon テンプレートの管理画面を使って解説しています

cocoon 設定は別冊「cocoon 設定の説明書」で解説しています。

ワードプレスの運営にお使いください。
※ダッシュボードの順番に解説していないので、目次を見ながら必要な情報をご覧ください。

この「ワードプレスの各設定の説明書」の著作権は、全てベルメンエアにあります。

Cocoon の公式 HP

https://wp-cocoon.com/

Cocoon の公式マニュアルです。これを見れば cocoon が良く分かります。

https://wp-cocoon.com/manual/

目次

設定・・・4

（一般設定、投稿設定、表示設定、ディスカッション、メディア、パーマリンク設定、プライバシー）

投稿・・・42

（投稿一覧、新規追加、カテゴリー、タブ）

メディア・・・45

固定ページ・・・48

コメント・・・49

外観・・・50

（テーマ、カスタマイズ、ウィジェット、メニュー、ヘッダー、背景、テーマエディター）

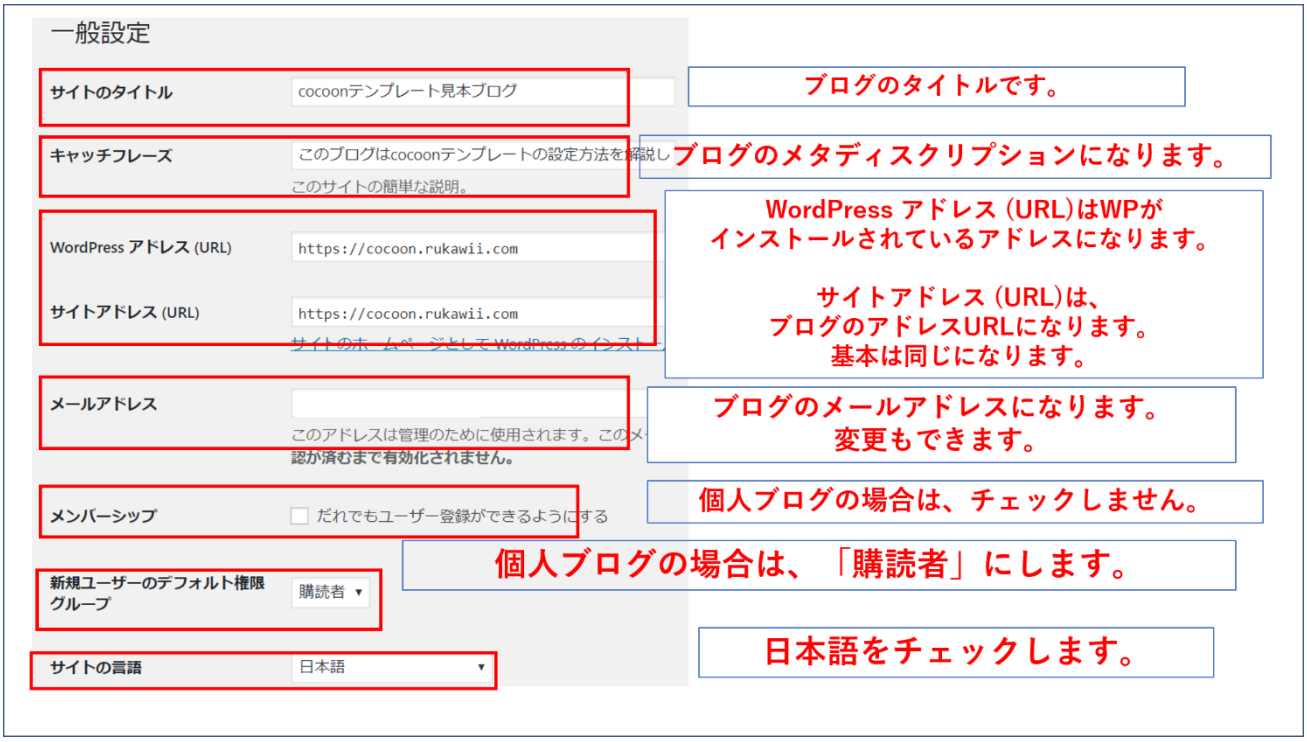
プラグイン・・・57

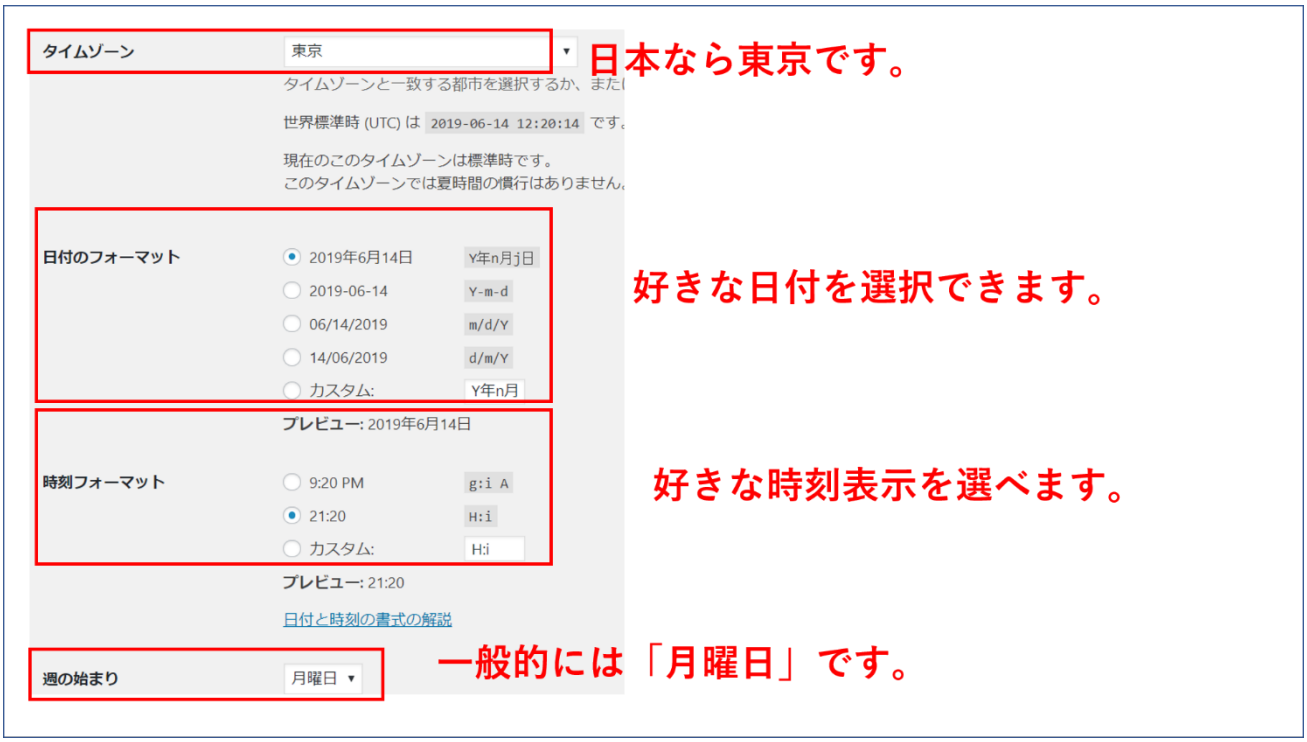
ユーザー・・・59

（ユーザー一覧、新規追加、あなたのプロフィール）

ツール・・・67

ダッシュボード　→設定　→一般設定





サイトのタイトル

サイトタイトルは、ブログのタイトルです。

キャッチフレーズ

「サイトの簡単な説明」はブログのメタディスクリプションになります。

WordPress アドレス（URL）

サイトアドレス（URL）

この２つは基本同じになります。

WordPress アドレス（URL)は、WP がインストールされているアドレス URL を示しています。特にここのアドレスを変更してしまうと、ブログにアクセス出来なくなります。

サイトアドレス（URL)は、ブログのアドレス URL を表しています。

http://ドメイン.com と表示されていますが、サーバーで SSL 化しているので、
https://ドメイン.com/ 「ｓ」を追加してください。

メールアドレス

ブログのメールアドレスになります。変更も可能です。

メンバーシップ

メンバーシップにチェックしてしまうと、あなた以外の方でも、新規ユーザーを追加できてしまいます。なので、個人ブログなので、ここはチェックしないほうが良いです。

新規ユーザーのデフォルト権限グループ

ワードプレスは、個人のアドセンスブログを１人で使う他に、例えば、会社の公式なブログを、多数で運営していくこともできます。

個人ブログの運営の場合は、「購読者」を選択します。

（ブログ運営者のあなた以外は、「みんな購読者＝記事を見るだけですよ」という意味です）

管理者：あなたの事です。このブログのすべての操作が可能です。
編集者：テーマの編集、プラグイン等は編集できないが、あとはできる。
投稿者：個別記事の投稿、編集ができます。
寄稿者：個別記事の、投稿する前の段階までは可能です。
購読者：ブログを見るだけ

個人ブログを運営していくのであればこの機能は不要です。

サイトの言語
日本にいれば、日本語です。

タイムゾーン
日本にいれば、東京です。

日付のフォーマット
好きな日付の表示を選べます。

時刻フォーマット
好きな時刻の表示を選びます。

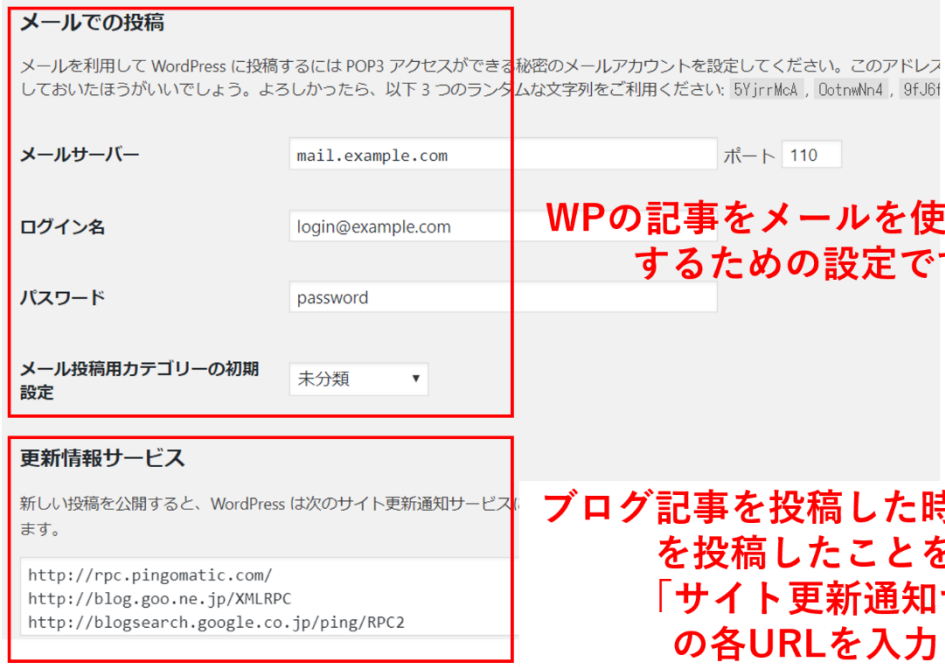
週の始まり
一般的には「月曜日」です。

設定　→投稿設定

複数あるカテゴリーの中から、
よく使うカテゴリーを初期設定にできる。

標準の他に、様々なフォーマットが
用意されています。

リンクカテゴリーを選択できます。



WPの記事をメールを使って投稿
するための設定です。

ブログ記事を投稿した時に、ブログ記事
を投稿したことを通知する
「サイト更新通知サービス」
の各URLを入力します。

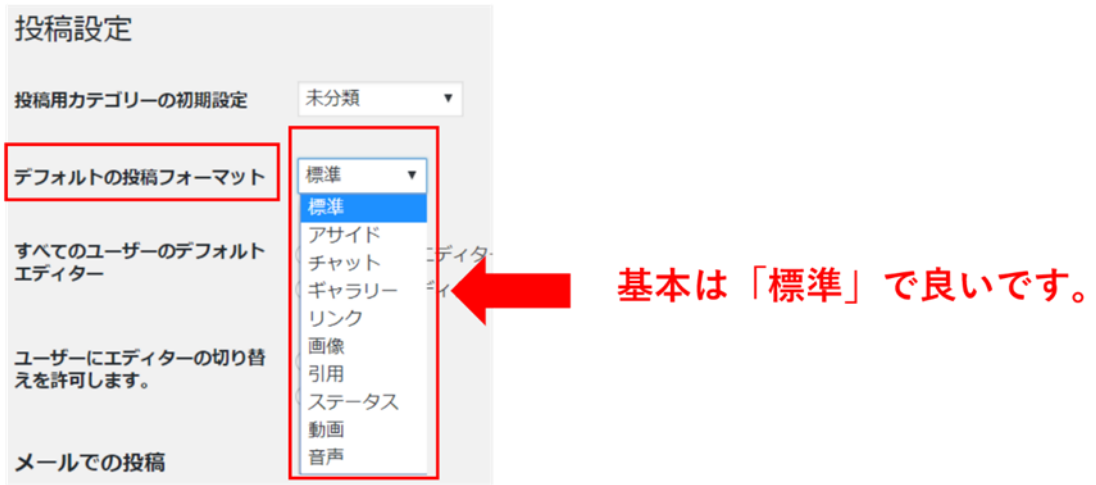
投稿用カテゴリーの初期設定

カテゴリーが増えてきて、よく使うカテゴリーがあったときに、

よく使うカテゴリーを投稿時の初期設定に出来ます。

カテゴリーは、個別記事の投稿時に設定できます。

デフォルトの投稿フォーマット



aside（アサイド）

通常タイトルなしで表示。Facebook の Notes のようなもの。

gallery（ギャラリー）

画像ギャラリー。ギャラリーショートコードと添付画像を含む投稿など。

image（画像）

単独の画像。投稿本文内の最初の〈img /〉タグが画像と見なされる。もし投稿本文が URL のみの場合はそれが動画 URL となり、投稿タイトル（post_title）が画像の title 属性となる。

link（リンク）

他サイトへのリンク。投稿本文内の一つ目の〈a href=” ”〉タグがその投稿の外部リンクと見なされる。もし投稿本文が URL のみの場合はその URL が外部リンクとなり、投稿タイトル（post_title）が名前となる。

quote（引用）

引用文。引用文と引用元のテキストエリアを設けるのが望ましい。引用文は <blockquote>$quote_wrapped_with_paragraphs <cite>$citation</cite> </blockquote> として post_content に保存すること。

status（ステータス）

通常 140 程度の短い近況アップデート。Twitter のツイートのようなもの。

video（動画）

単独の動画、または動画のプレイリスト。投稿本文内の最初の <video /> タグまたは object/embed が動画と見なされる。もし投稿本文が URL のみの場合は、それが動画 URL となる。

audio（音声）

音声ファイル、またはプレイリスト。ポッドキャストにも使える。

chat（チャット）

チャット履歴。例えば以下のようなもの。

太郎: やあ！

花子: 元気？

一郎: おう！

以上は、「WordPress Codex 日本語版」から引用しています。

メールでの投稿

WP はメールからも記事を投稿できます。ここでメールの設定が出来ます。

更新情報サービス

PING 送信と呼ばれている、ブログ、サイトを公開した時に、通知する、サイトの更新情報サービスの URL を入力します。各 URL に自動で通知されます。サイトの更新情報サービスとは、様々なブログ、サイトの更新情報をまとめているサイトの事です。

おすすめの更新情報サービス

http://rpc.pingomatic.com/

http://ping.blo.gs/

http://rpc.pingomatic.com/

http://ping.freeblogranking.com/xmlrpc/

http://ping.bloggers.jp/rpc/

http://ping.fc2.com/

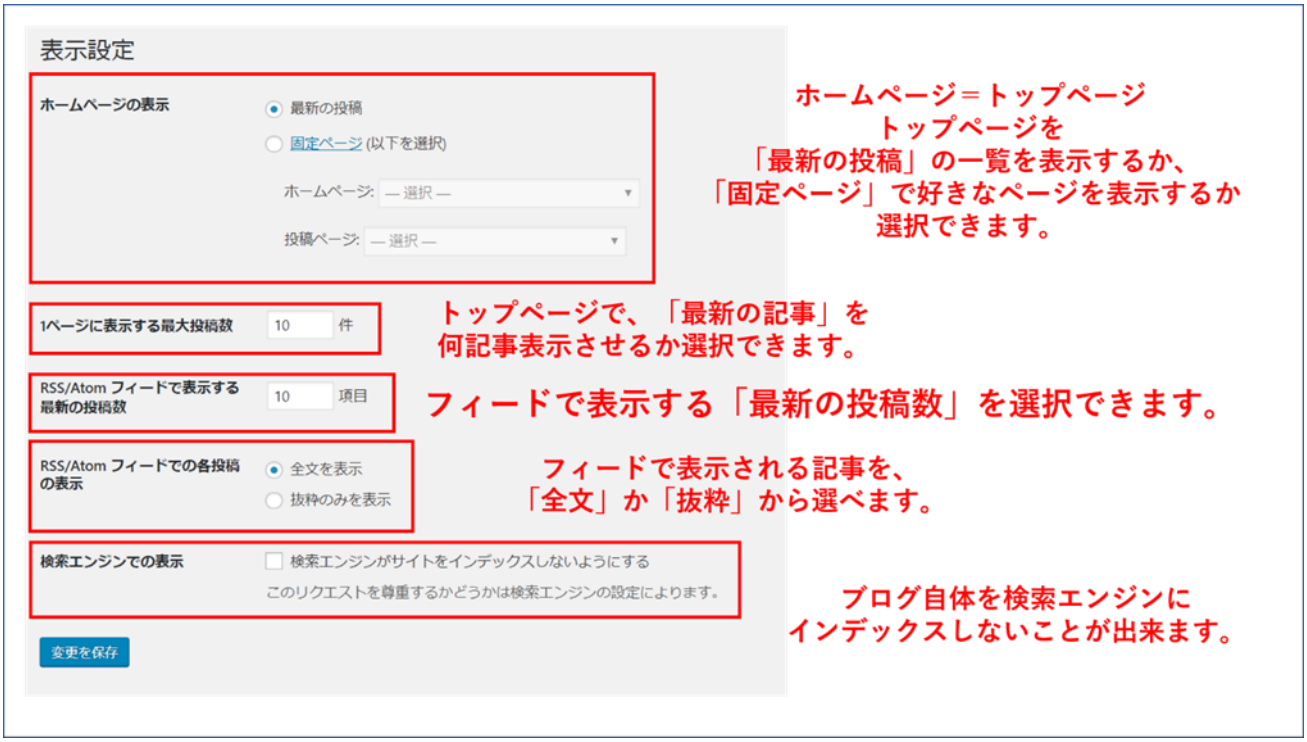
http://ping.bloggers.jp/rpc/

http://blog.with2.net/ping.php/

http://ping.feedburner.com/

以上をコピペして、入力します。

設定　→表示設定



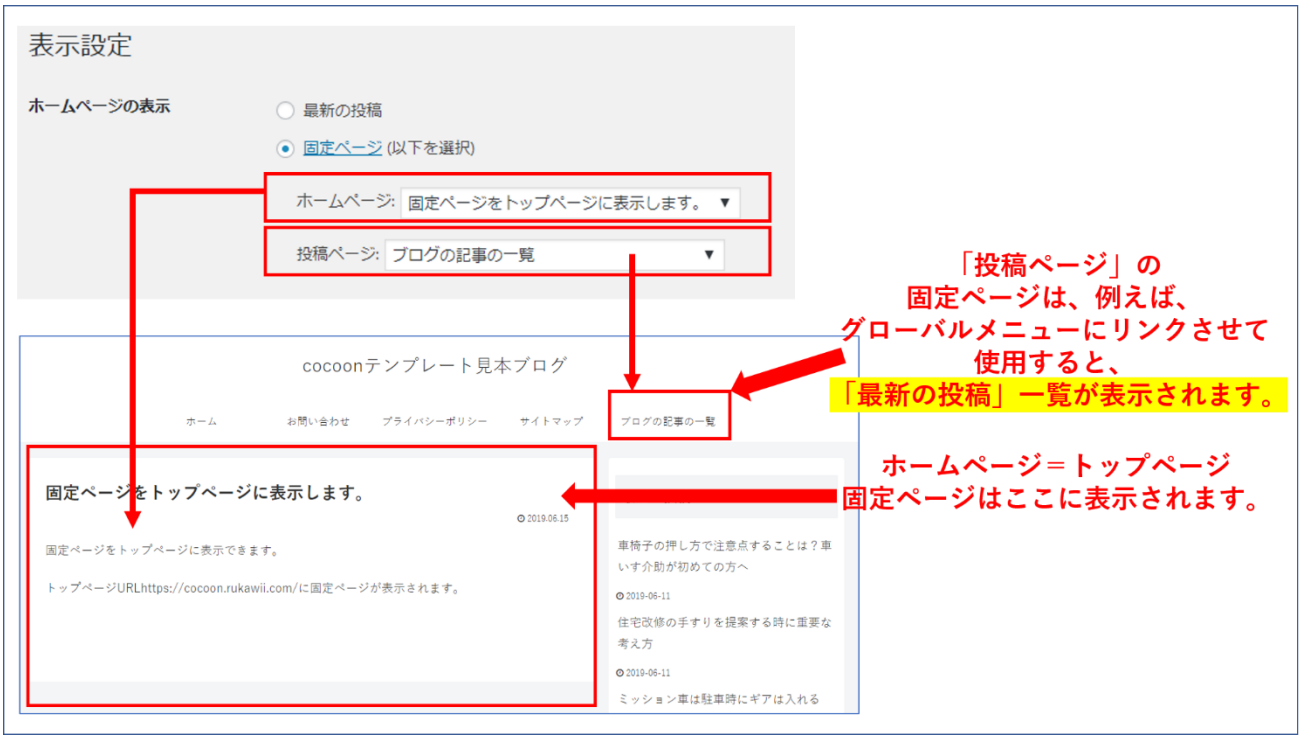
ホームページの表示

ホームページ＝トップページを意味しています。

ブログのトップページ（https:ドメイン.com/）に、「最新の投稿（最新の記事）」か「固定ページ（好きなページ）」を表示するか選択できます。

アドセンスブログなら、「最新の投稿」が表示されると良いと思います。

「固定ページ」を表示すると



ホームページ＝トップページを意味しています。

固定ページを選択すると、今まで、表示されていた「最新の投稿」一覧が表示されなくなります。

しかし、「トップページ」を「固定ページ」にして、さらに、「最新の投稿」一覧も別で表示させたい。

そんな時に使うのか「投稿ページ」です。

「投稿ページ」に指定した「固定ページ」には、自動で「最新の投稿」（最新の記事の一覧）が表示されます。

そこで、「投稿ページ」を固定ページで作成して、グローバルメニューにリンクさせます。

例として、
「投稿ページ」の固定ページを「ブログの記事の一覧」と記事タイトルを付けて、
URL：https://keni.rukawii.com/blog
として、グローバルメニューに「ブログの記事の一覧」という名前でリンクさせます。

すると、トップページには、好きな固定ページが表示されて、
グローバルメニューの「BLOG」をクリックすると、「最新の投稿」が表示されます。

この時、
「投稿ページ」の固定ページ「ブログの記事の一覧」に書いた記事は表示されません。
この固定ページには、「最新の投稿」が自動で表示されます。

トップページに「最新の投稿」を表示した場合

トップページに「固定ページ」を表示、「投稿ページ」を「固定ページ」で作った場合の「最新の投稿」一覧のページ↓

２つのページは、URL が異なっていますが、同じ「最新の投稿」のページを表示しています。

トップページに「最新の投稿」を表示した場合のトップページ URL

URL:https://keni.rukawii.com/

トップページに「固定ページ」を表示、「投稿ページ」を「固定ページ」で作った場合の「最新の投稿」一覧が表示される URL

URL:https://keni.rukawii.com/blog

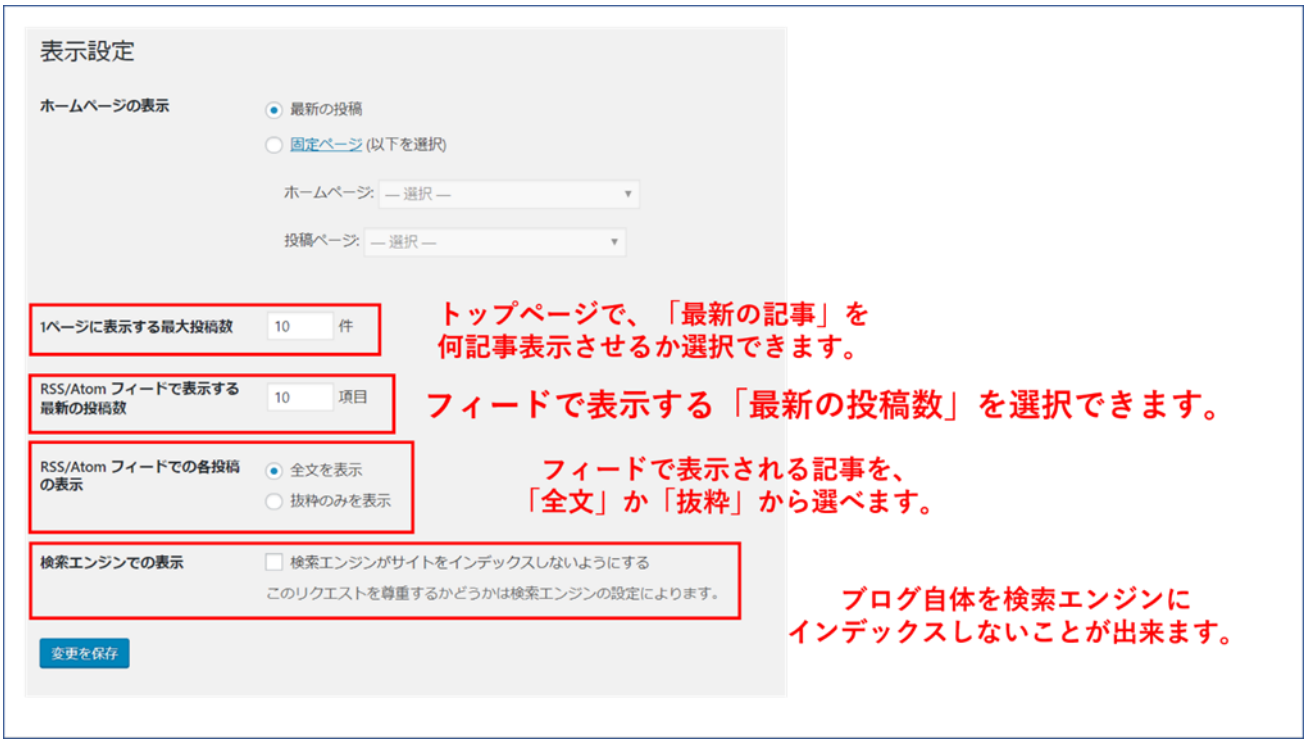
まとめると、

トップページに「最新の投稿」一覧を表示したい場合は、「最新の投稿」を選択します。

トップページに「固定ページ」を表示させたい時は、「固定ページ」を選択して、

さらに、表示したい「固定ページ」を選択します。

そしてさらに、トップページに「固定ページ」を表示させて、「最新の投稿」一覧もグローバルメニュー等にリンクさせて、表示させたい場合は、「投稿ページ」で「固定ページ」を指定します。



1 ページに表示する最大投稿数

トップページで「最新の投稿」を表示させるときに、何記事表示させるか選択できます。
アドセンスブログならば、５～１０件がよいと思います。

RSS/Atom フィードで表示する最新の投稿数

RSS/Atom フィードでの各投稿の表示

WordPress には、機能として「フィード」という機能があります。
「フィード」は WP ブログの記事、投稿日時、内容を自動で発信しています。

ブログの読者の方は、最近では「Feedly」というフィードリーダーを使っています。
フィードリーダーは、あなたのブログのフィード機能から、フィードリーダーを使って、ブログの情報を読み込みます。

「RSS/Atom フィード」を取得しているあなたのブログの読者さんに、通知が配信される仕組みになっています。

「あなたの WP ブログのフィードの情報」を

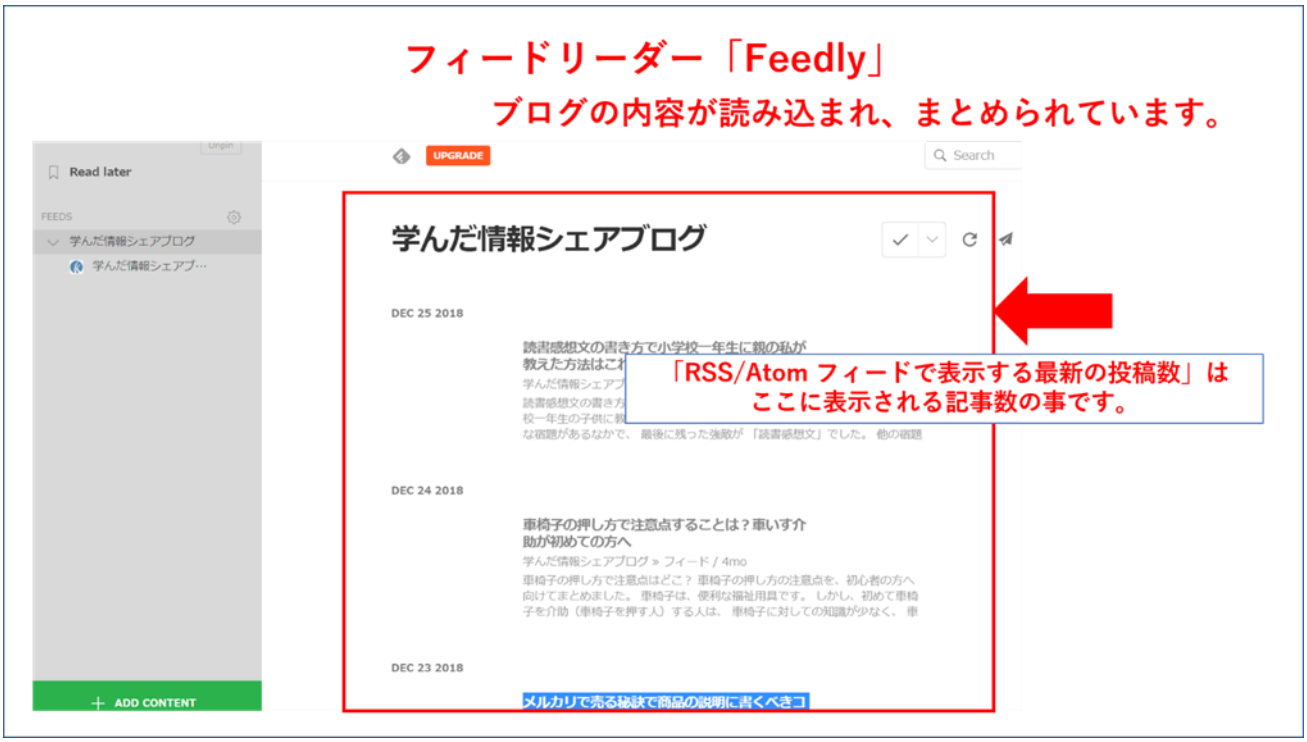
「ブログ読者さんは、フィードリーダを使って、情報を読み込みます」
「RSS/Atom フィード」は、
「RSS、Atom、など、総称がフィード」という意味で、

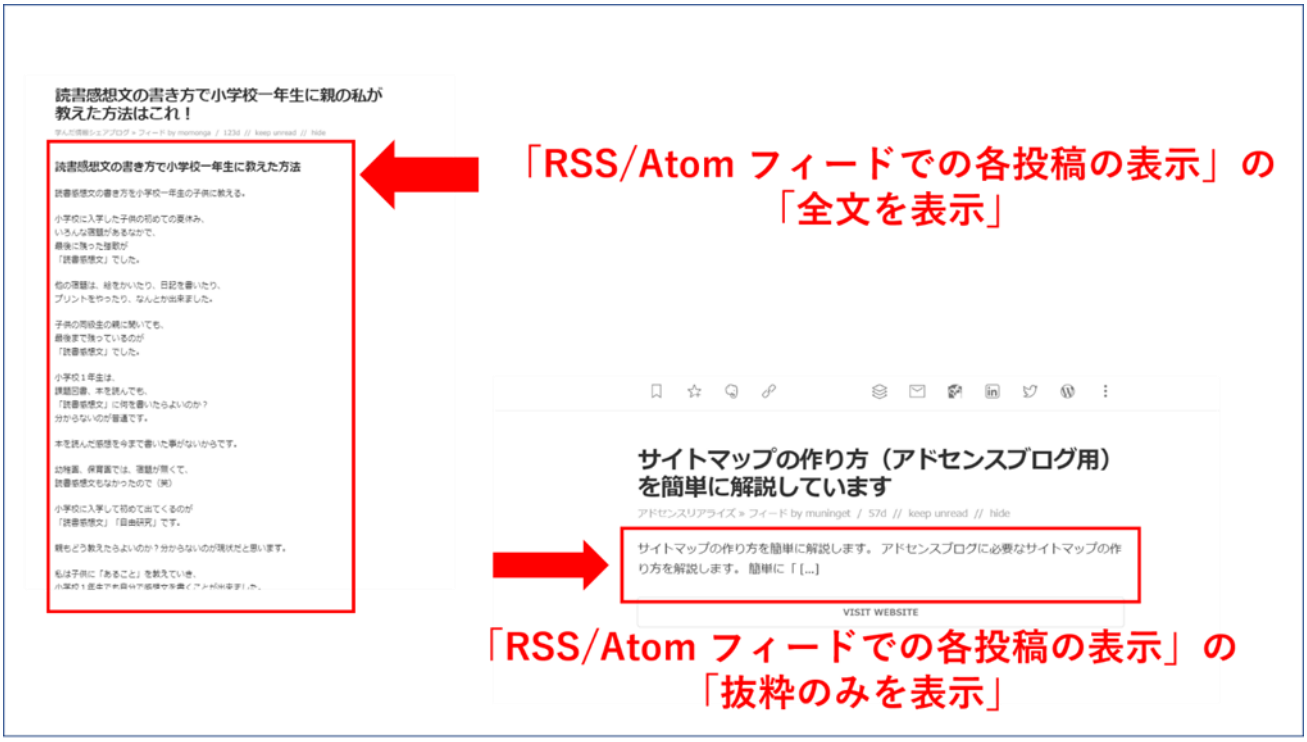
「RSS/Atom フィードで表示する最新の投稿数」とは、
「あなたの WP ブログの情報をフィード機能を使って表示するときに、最新の記事は何記事表示しますか？」

「RSS/Atom フィードでの各投稿の表示」とは、
「ブログ読者さんがフィードリーダーを使ってあなたのブログの情報を見るときに、
各記事は、『全文を表示』か『抜粋のみを表示』どちらに設定しますか」

ということです。

設定は、デフォルトの設定のままで良いと思います。
「RSS/Atom フィードで表示する最新の投稿数」１０記事
「RSS/Atom フィードでの各投稿の表示」全文を表示





「Feedly」は使いやすく、無料で使えますので、試してみるのもいいと思います。

https://feedly.com/i/welcome

検索エンジンでの表示

ここにチェックすると、ブログは、検索エンジンにインデックスされません。

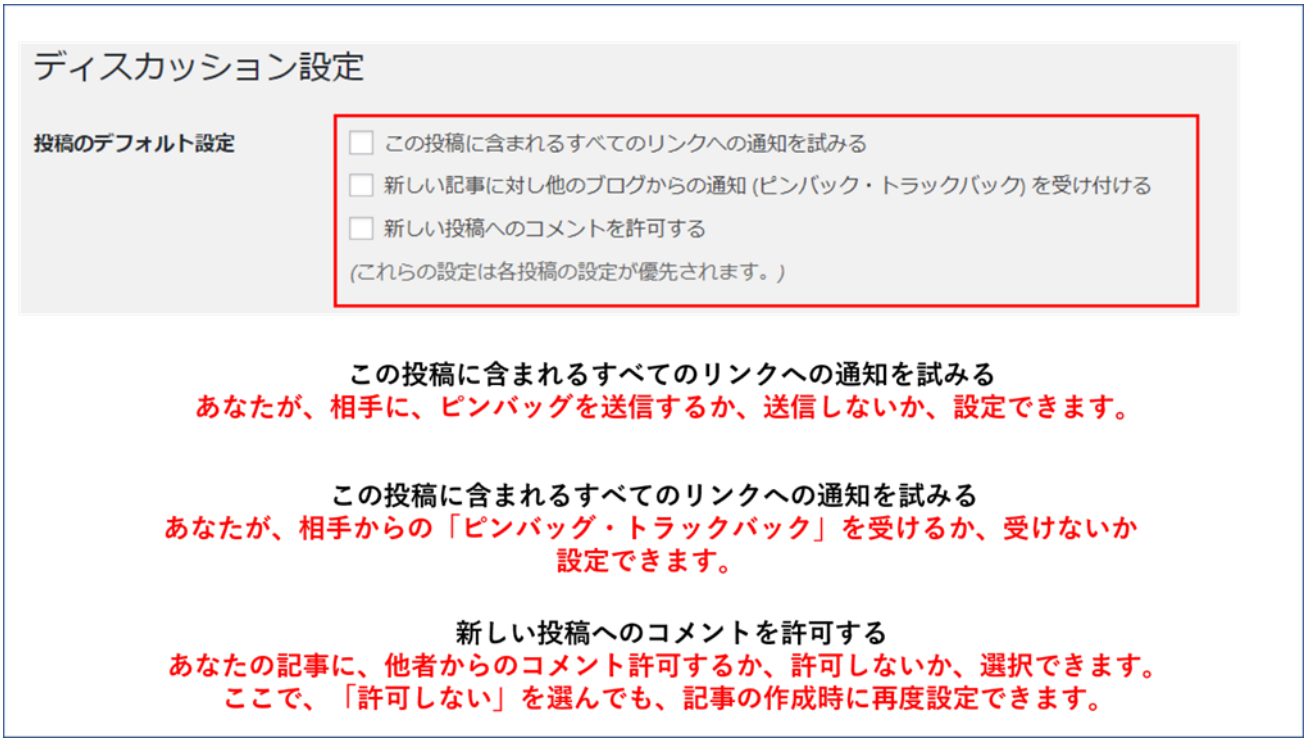
検索結果に出てこないようになります。

例えば、ブログがまだ、未完成の場合で、中途半端な状態で、検索エンジンに、インデックスされたくない場合に使います。

アドセンスブログを運営していく中では、ブログが未完成、中途半端等、特別な理由が無い限り、そこまで考えなくても良いと思います。

ここにチェックして、忘れていて、そのままブログを運営し続けたら、誰からもアクセスがこないことになります（涙）

設定　→ディスカッション設定



投稿のデフォルト設定→「この投稿に含まれるすべてのリンクへの通知を試みる」

これは、あなたの WP ブログに、他者の WP ブログのリンクを貼り付けた時に、
相手に「私の WP ブログに、あなたの WP ブログ記事をリンクしました」という
通知（「ping back」）を送るか、送らないか。の設定が出来ます。

「ping back」は WP 同士の機能です。

メリットとして「私の WP ブログに、あなたの WP ブログ記事をリンクしました」という通知（「ping back」）を送られた相手は、「承認する」「ゴミ箱へ移動」などの選択が出来て、承認されると、「ブログ間同士の相互リンク」が形成されて、SEO 的に有利になります。

投稿のデフォルト設定→「新しい記事に対し他のブログからの通知（ピンバック・トラックバック）を受け付ける」

これは、先ほどの反対の場合で、あなたの WP ブログ、記事を、他者が（他者の）WP ブログにリンクを貼り付けた時に、他者から「通知（ピンバック・トラックバック）」を、あなたが受けるか、受けないか。の設定が出来ます。

あなたは、相手からの「通知（ピンバック・トラックバック）」の通知を受けたら、
承認する、ゴミ箱へ移動、などを選択できます。承認すれば、お互いに「相互リンク」が形成されて、SEO 的に有利になります。

「トラックバック」は「ping back」と異なり、リンクを張らなくても、一方的に、
WP でない他者のブログ、サイトにも発信、送信することが出来ます。

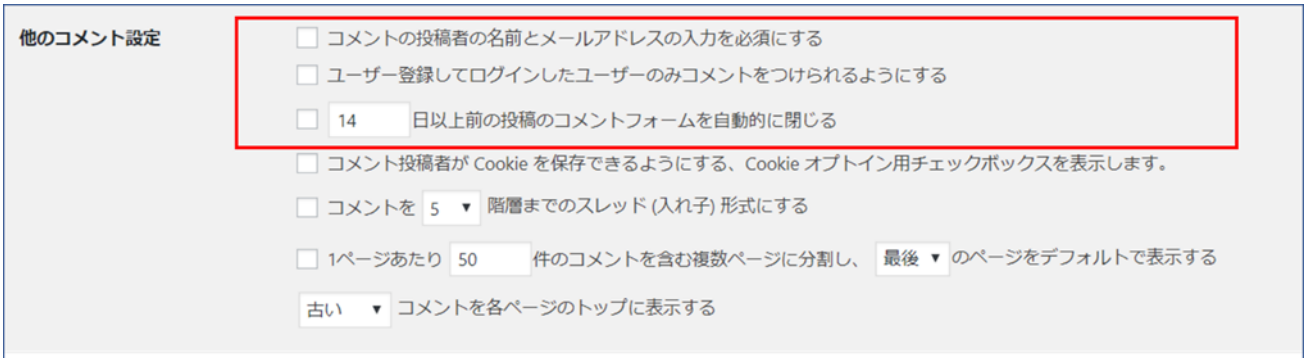
そうすると、メリットばかりに見えますが、全ての相手からの通知はメールとして受け取るので、量が多くなると、面倒になってしまう場合があります。なので、最初は、チェックして、やってみて、自分のブログ運営に合っているか、試してみると良いと思います。

投稿のデフォルト設定→「新しい投稿へのコメントを許可する」
この機能は、ブログの記事にコメントを許可するか、許可しないか選択できます。

コメントのメリットは、例えば、訪問者さんと、コミュニケーションがとれる。記事に反応があり、嬉しい。記事が解説系、問題解決系の場合、コメント欄をみて、同じ問題を抱えた訪問者さんが、過去のコメント欄のやり取りをみて、解決していく。というメリットがあります。

コメントのデメリットとしては、嫌なことを書いてくる方もおられます。
アドセンス審査を受けるときには、ブログの全部を見られます。もしも、記事内のコメント欄に、アドセンスの禁止ワード「死、殺す、モラルに反する表現」などが書かれていた場合、アドセンス審査に不利になるのではないか、というのが私の考えです。
なので、アドセンスブログを運営していく方は、アドセンス審査中は、コメントは停止して、合格したら、コメントを許可したらよいと思います。

他のコメント設定



「 コメントの投稿者の名前とメールアドレスの入力を必須にする 」
コメントするときに、相手のメールアドレス、名前の入力を必須にします。
そうすることで、変なことをコメントしてくる方を、減らす効果があります。

「ユーザー登録してログインしたユーザーのみコメントをつけられるようにする」
「メンバーシップ」、「新規ユーザーのデフォルト権限グループで権限を与えられた方」
のみがコメントできるようにする機能です。
ブログ訪問者全員にコメントしてほしいときは、チェックしません。

「〇日以上前の投稿のコメントフォームを自動的に閉じる 」
記事を投稿してからコメントできる期間を設定できます。

コメントの投稿者の名前とメールアドレスの入力を必須にする

「 コメントの投稿者の名前とメールアドレスの入力を必須にする」
にチェックすると、「必須」になります。

「必須にしない」
そのままコメントできます。

「必須にする」
メルアドと名前を入力したら、コメントできます。

ブログ訪問者の方が記事にコメントするときに、メールアレスと名前を必須にしてコメントの書き込みができる機能です。コメントは誰でも書き込めるのですが、中には、変なことをコメントしてくる方、スパムと呼ばれるものを書き込んでくる方などがいますので、それを予防することが出来ます。

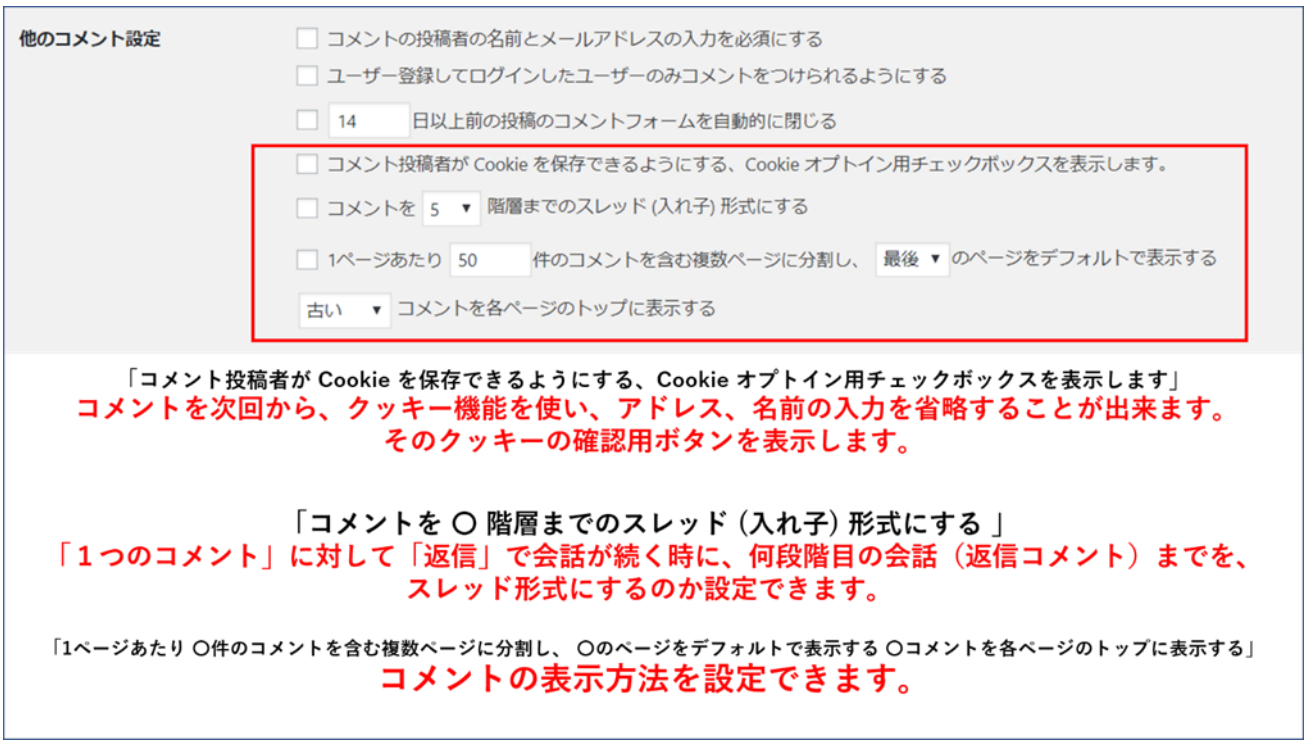
しかし、メールアドレスはコメント欄で非表示になるのですが、メールアドレスを入力して気軽にコメントする人は少ないかもしれません。ここの設定は個人の意見に分かれます。

ユーザー登録してログインしたユーザーのみコメントをつけられるようにする

「メンバーシップ」、「新規ユーザーのデフォルト権限グループで権限を与えられた方」のみがコメントできるようにする機能です。ブログ訪問者、全員がコメントできる対象者としているのならばチェックしません。

〇〇日以上前の投稿のコメントフォームを自動的に閉じる

コメントは、いつでもコメントできるのですが、例えば、過去の記事に、スパムとしてコメントを書き込んでくる場合があります。そんな状態が続き負担になるようであれば、記事を投稿してから〇〇日経ったら、コメントできなくできる機能です。



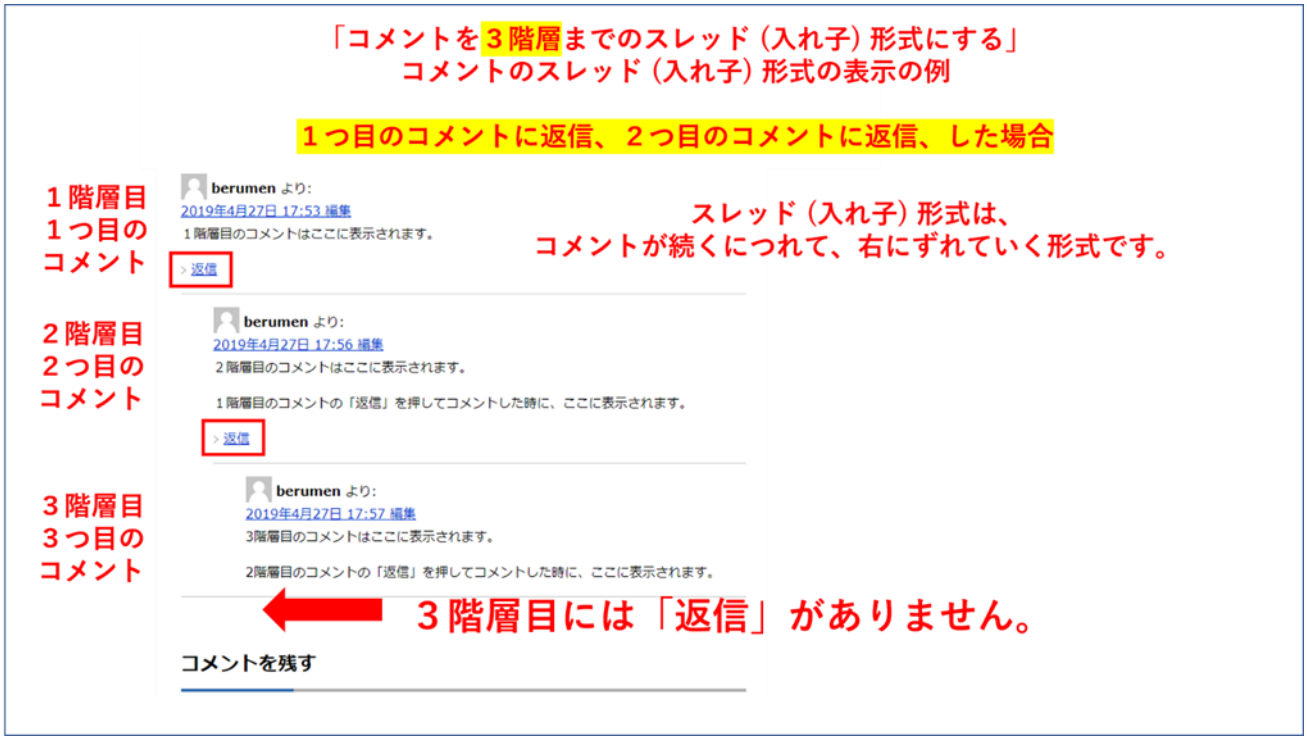
コメント投稿者が Cookie を保存できるようにする、「Cookie オプトイン用チェックボックス」を表示します。

この機能は、一度コメントした方が、次回からクッキーを使い、メールアドレス、名前を省略できる機能です。

コメントを〇階層までのスレッド（入れ子）形式にする

「１つのコメント」に対して「返信」で会話が続く時に、何段階目の会話（返信コメント）までをスレッド形式にするのか設定できます。２階層から１０階層まで設定できます。

例として、３階層までのスレッド（入れ子）形式を作ってみました。



「３階層」に設定した場合、３階層目には、「返信」が出てきません。

「５階層」に設定した場合、５階層目には、「返信」が出てきません。

これは、コメントが３件までしか出来ないのではなく、

１つ目のコメントに対して、「返信」されたコメントが３階層まで続きますという意味です。１階層目のコメントは何件でも表示されます。

上記の図の例でいくと、１階層目のコメントの返信、２階層目のコメントの返信は、出来ますが、３階層目の返信は表示されないので、ここで、これ以上４～階層へは進みません。

スレッド（入れ子）形式にすることによって、どのコメントに、誰が返信したコメントなのかが視覚的にわかるので良いと思います。

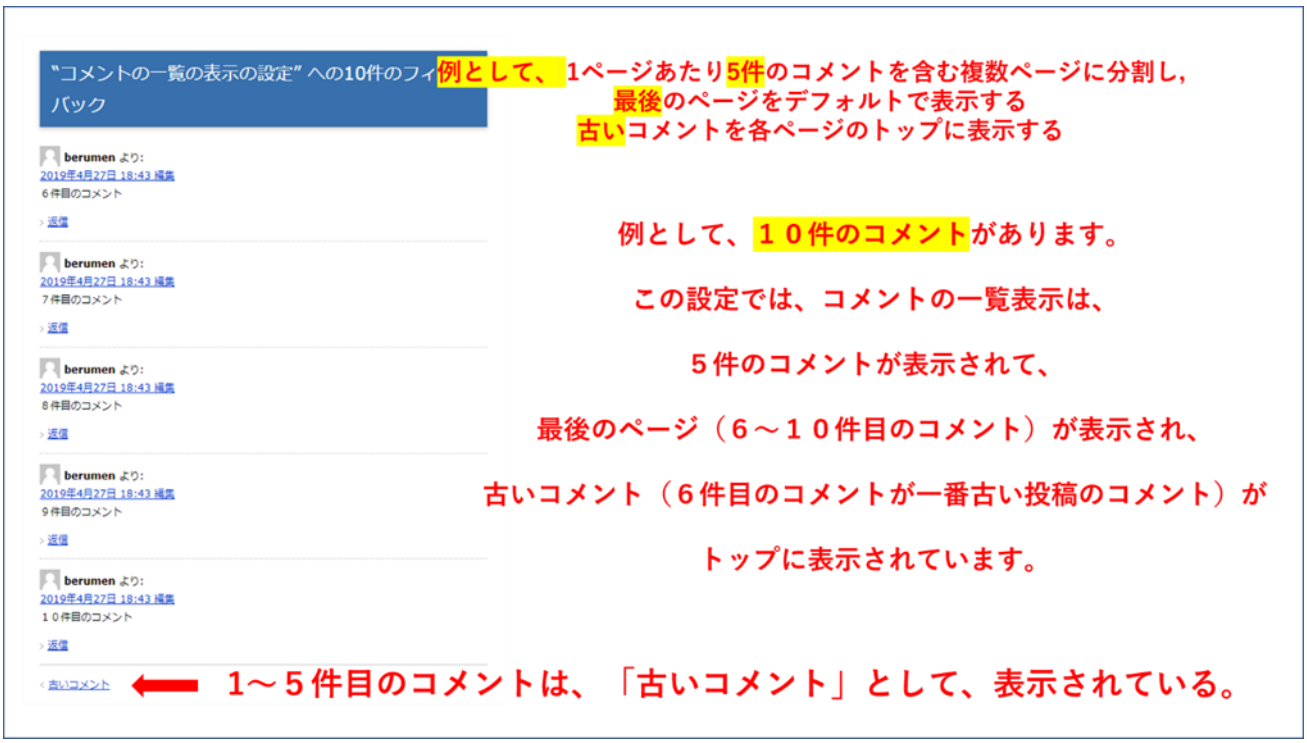
コメントが返信で長く続くようならば、「１０階層」で設定してよいと思います。

まずは、５階層で様子をみてから増やす、減らすをしたら良いと思います。

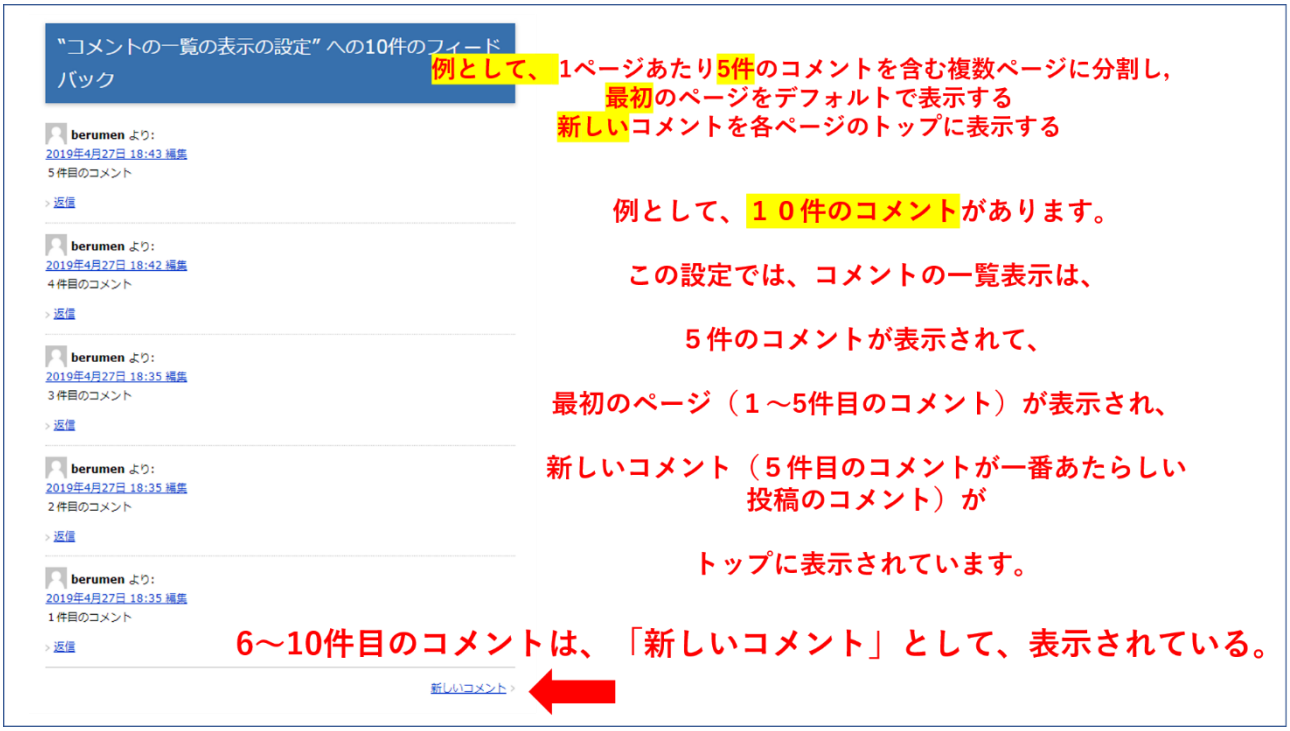
1ページあたり〇〇件のコメントを含む複数ページに分割し、（最後・最初）のページをデフォルトで表示する（古い・新しい）コメントを各ページのトップに表示する

ここは、コメントの一覧を表示する設定が出来ます。

初期設定の「５０件、最後、古い」この設定が直感的に見やすいと思います。



「５０件、最初、新しい」この設定は以下のようになります。

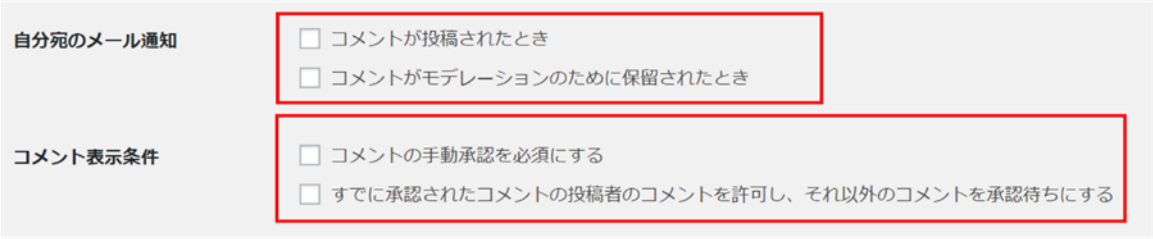


個人の好みもありますので、どの設定でも良いと思います。

難しければ、初期設定の「５０件、最後、古い」が良いと思います。

自分宛のメール通知

コメント表示条件



「コメントが投稿されたとき」
自分のブログにコメントが書かれたときに、WPで登録したメールアドレスに通知がきます。

「コメントがモデレーションのために保留されたとき」
自分のブログにコメントが書かれたときに、
そのコメントに対して、設定で手動承認、コメントの各種承認待ち設定をした時に、
WPで登録したメールアドレスに通知がきます。

「コメントの手動承認を必須にする」
全てのコメントに対して、あなたが承認しないと、コメントが表示されない機能。

「すでに承認されたコメントの投稿者のコメントを許可し、それ以外のコメントを承認待ちにする」
過去にコメントを承認したユーザーは、常にコメントを許可して、
過去に一度もコメントを承認していないユーザーは、あなたが承認するまで、コメントが表示されない機能。

「自分宛のメール通知」→「コメントが投稿されたとき」

コメントが投稿されると、WP に登録したメールアドレスに通知がきます。

「自分宛のメール通知」→「コメントがモデレーションのために保留されたとき」

「すでに承認されたコメントの投稿者のコメントを許可し、それ以外のコメントを承認待ちにする」「コメントモデレーション」では、コメントに対して承認の条件を設定します。

「コメントがモデレーションのために保留されたとき」は、「あなたがコメントに対して承認する条件を満たしていないコメントが投稿されたので、表示を保留しています」という意味のメールが来る機能です。リアルタイムで保留のコメントがあることが分かる機能です。

ただ、たくさんのコメントが来る方、スパムコメントが多い方には、すぐにメールボックスがいっぱいになってしまい、ストレスを感じてしまう機能かもしれません。

「コメント表示条件」→「コメントの手動承認を必須にする」

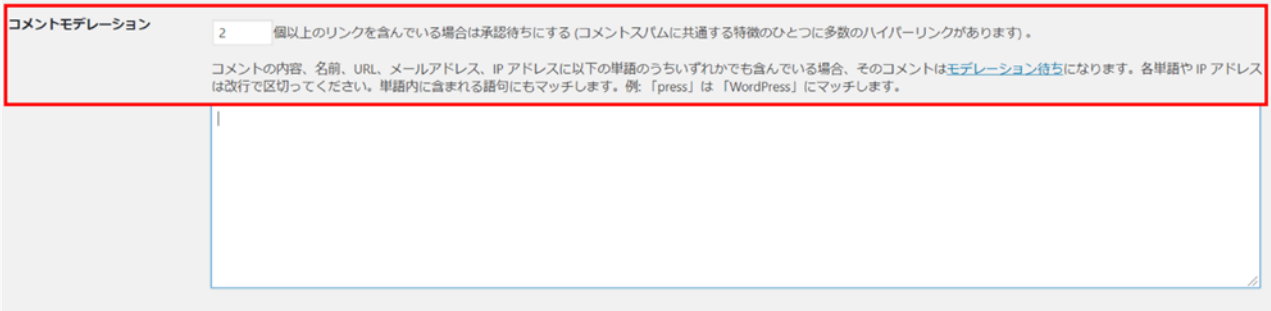
コメントにはさまざまなコメントがあるので、すべてのコメントを無条件に受け入れるのは今の時代にはストレスがあることかもしれません。この機能は、あなたがすべてのコメントに対して手動で承認作業をすることを必須とする機能です。

「コメント表示条件」→「すでに承認されたコメントの投稿者のコメントを許可し、それ以外のコメントを承認待ちにする」

この機能は、一度コメントを承認したブログ訪問者の方の再度のコメントは、常に承認して、一度もコメントを承認していないブログ訪問者の方のコメントは承認待ちにする機能です。

一度コメントを承認した方からの再度のコメントが毎回、良いものだとは限らないので、毎回承認したほうが良いと思います。（訪問者の方にもよります）

「コメントモデレーション」→「個以上のリンクを含んでいる場合は承認待ちにする（コメントスパムに共通する特徴のひとつに多数のハイパーリンクがあります）。」



「個以上のリンクを含んでいる場合は承認待ちにする」
(コメントスパムに共通する特徴のひとつに多数のハイパーリンクがあります)

この設定は、まず、コメントにリンクされたURLが掲載されている場合、
〇〇個以上のリンクがある場合に、あなたの承認を必要とする設定です。

また、空欄には「あなたの承認が必要なコメントの条件」が設定できます」

「そのコメントは、デモレーション待ちになります」とは、
「そのコメントは、あなたの承認が必要になります」の意味です。

多くのコメントの中には、スパムコメントという問題のあるものがあります。

理由は、一般のコメントに交じり、無差別で、有害な URL を含んだコメントを送り付けてくる行為があります。スパムコメントを予防するには、コメントを止めるのがよいのですが、それでは、ブログ読者の方と、あなたとの会話もできなくなってしまいます。

スパムコメントには、有害なリンクされた URL を複数含んでいる特徴があります。

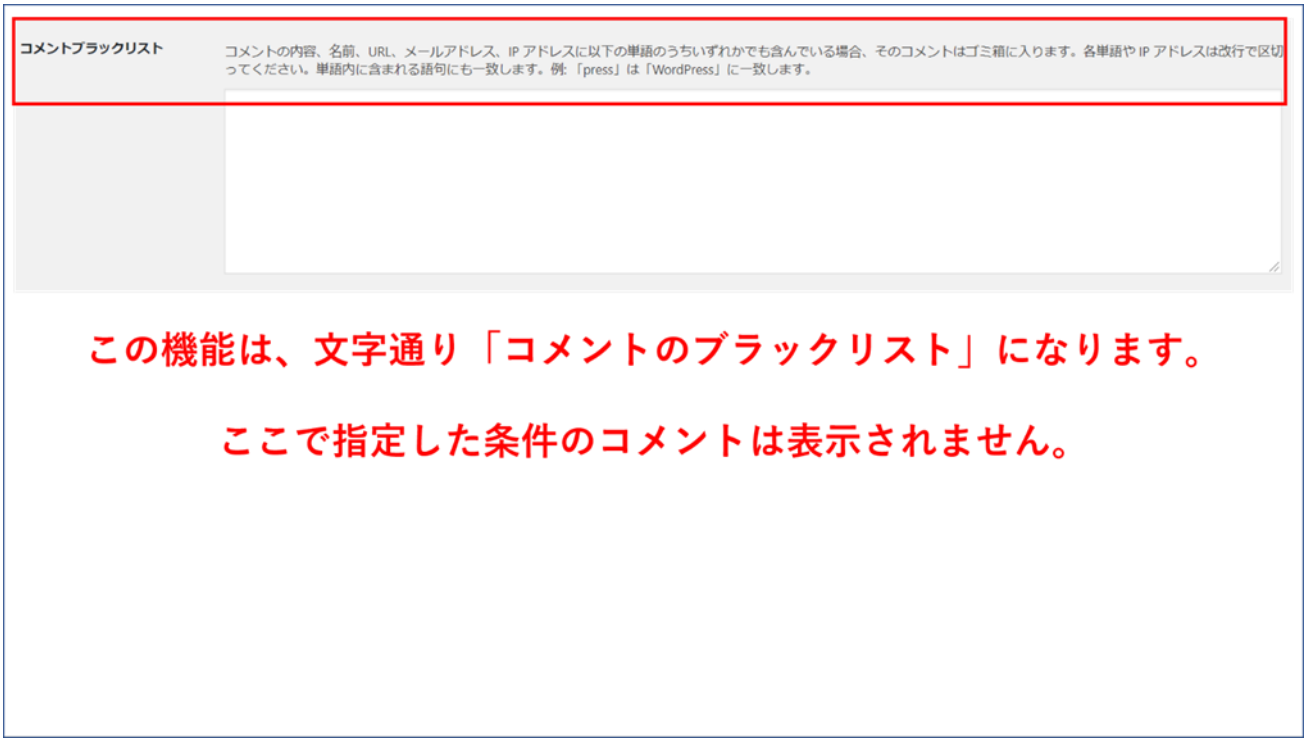
そこで、「コメントモデレーション」では、「コメントに含まれているリンクされた URL の数」を指定して「複数の URL がリンクしているスパムコメントと疑われるコメント」を承認待ちにする機能です。

コメントの内容、名前、URL、メールアドレス、IP アドレスに以下の単語のうちいずれかでも含んでいる場合、そのコメントはモデレーション待ちになります。

また、スパムメールを予防するために、白い空欄には、コメントに含まれている情報を指定して、コメントを承認待ちに出来る機能があります。

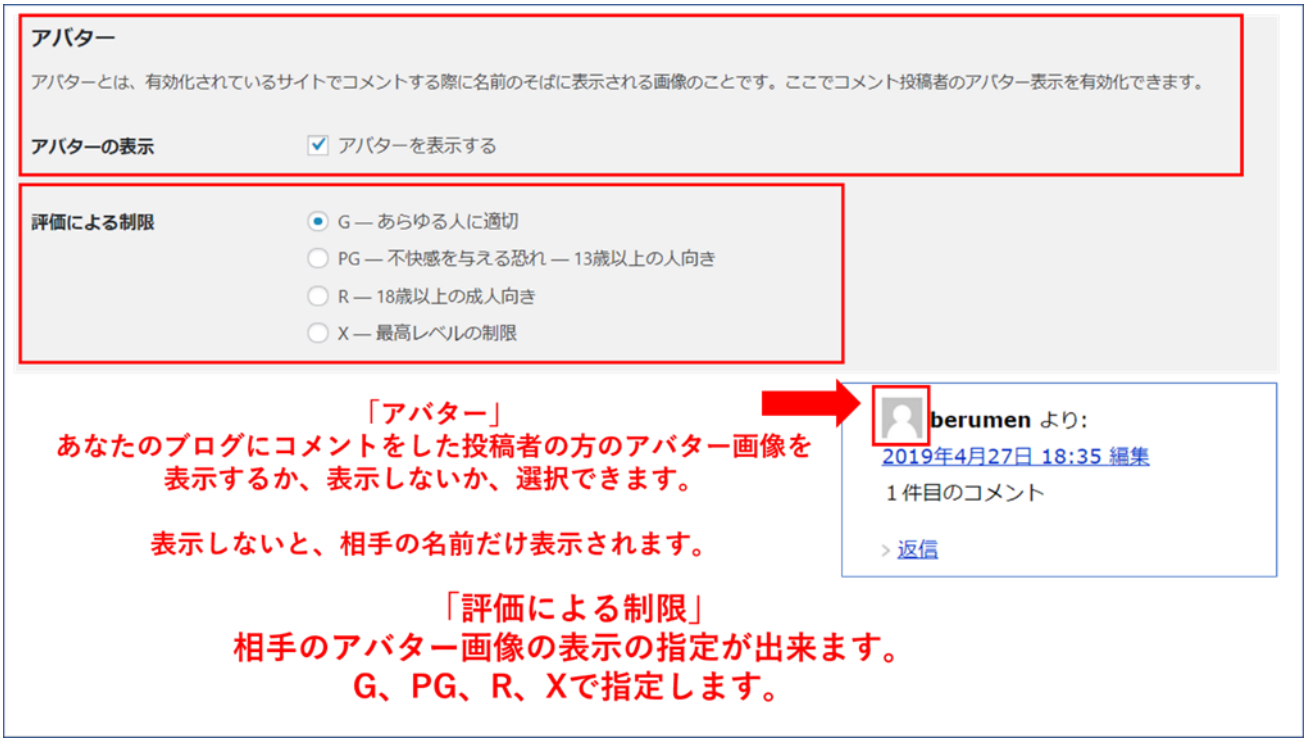
これは、「コメントの手動承認を必須にする 」にチェックしてしまえば、すべてのコメントを承認待ちに出来るのですが、一般のコメントは承認なしで表示して、有害なスパムコメントを個別に指定して、予防するのには、この機能を使います。

コメントブラックリスト



あらかじめ分かっているスパムコメントに対して、個別に指定して、予防する機能です。

「アバター」→「アバターの表示」　「アバター」→「評価による制限」



「アバター」は、あなたのブログにコメントをした方のアバターを表示するか、表示しないかを選択できます。「表示する」を選べば、相手のアバターが表示されますが、「表示しない」を選ぶと、アバターは表示されずに、相手の名前だけ表示されます。

「評価による制限」は、相手のアバターがどんな画像を使っているかで、表示する、表示しない、を選択できます。基本は「G – あらゆる人に適切」のアバターを使っている方を表示にすると良いでしょう。

G – あらゆる人に適切

PG – 不快感を与える恐れ – 13 歳以上の人向き

R – 18 歳以上の成人向き

X – 最高レベルの制限

これは、どういう意味かというと、例えば、あなたが、「子供向けの WP ブログ」を運営していて、コメント欄に、

PG – 不快感を与える恐れ – 13 歳以上の人向き

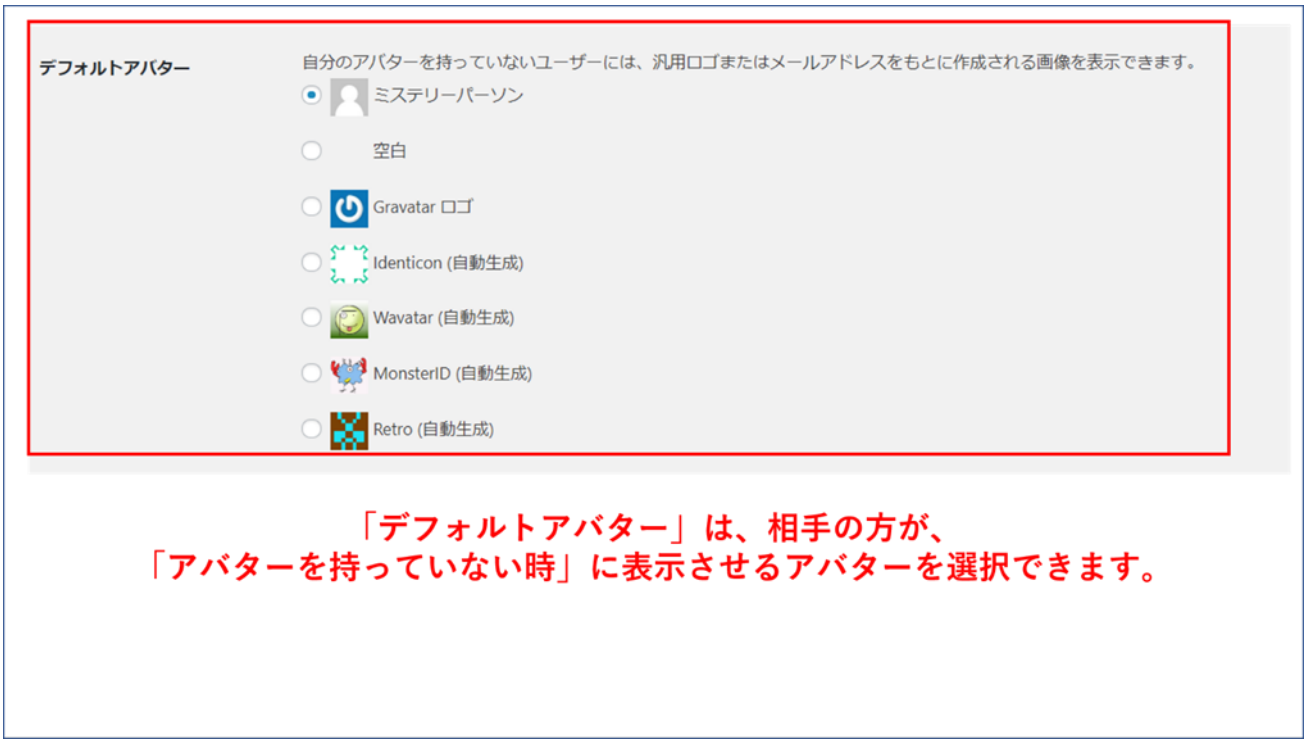
R － 18 歳以上の成人向き

X － 最高レベルの制限

のアバターが表示されていたら、あまりよくはありません。

なので、基本は、「G － あらゆる人に適切」にチェックがよいと思います。

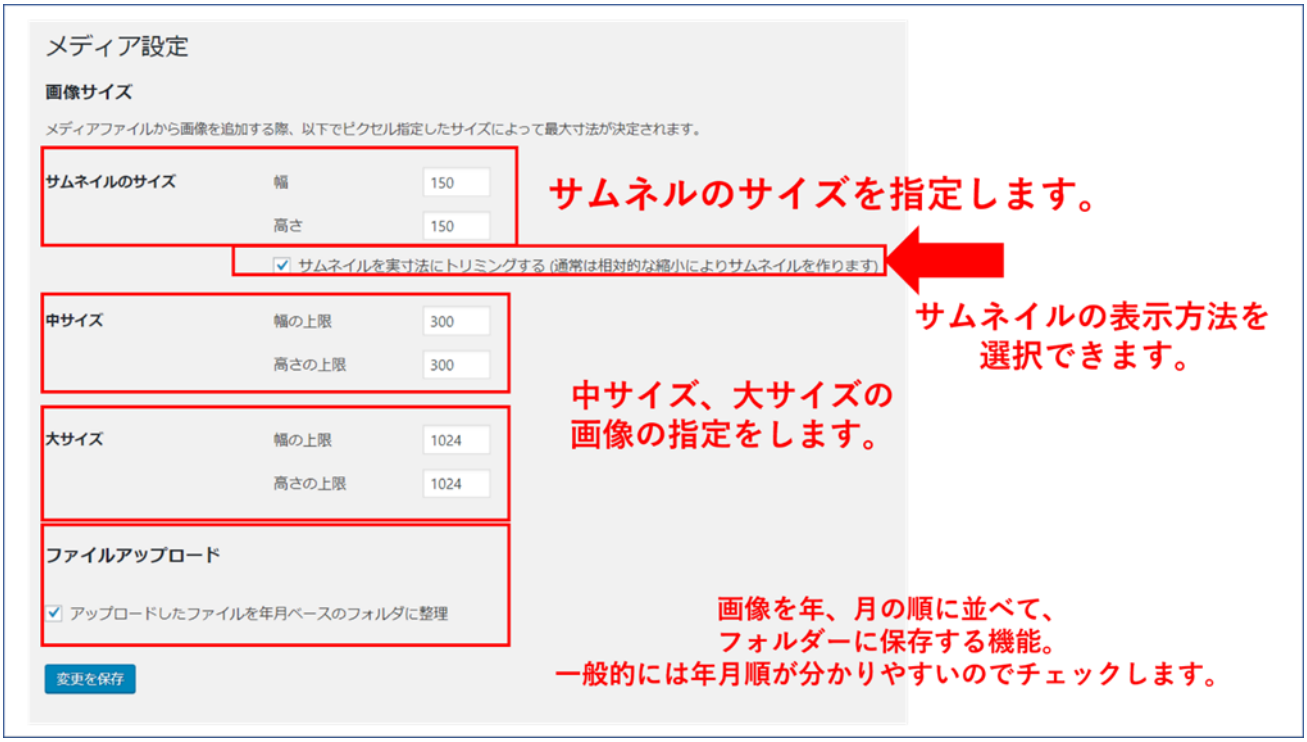
デフォルトアバター



相手の方が、アバターを設定していない時に、あなたのブログに表示させるアバターを選択する機能です。「デフォルトのミステリーパーソン」で良いと思います。

自分（あなた）のアバターを設定する場所は、「ユーザー」→「あなたのプロフィール」→「プロフィール画像」から出来ます。

設定　→メディア設定　→画像サイズ



サムネイルのサイズを設定できます。

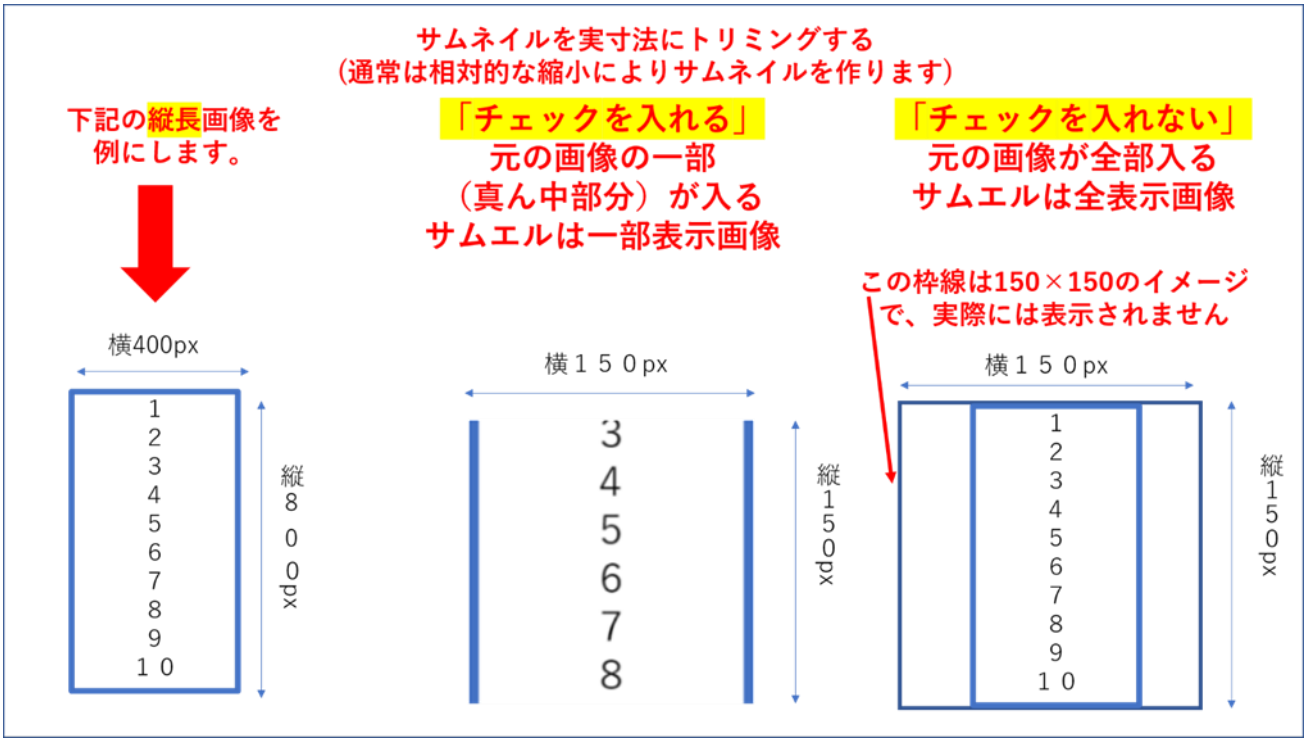
サムネイルを実寸法にトリミングする（通常は相対的な縮小によりサムネイルを作ります）とは、サムネイル画像の表示方法の設定が出来る機能です。

「チェックを入れる」と、画像は、「縦 150×横 150」サイズの画像を表示します。
しかし、画像の一部（大体真ん中くらい）を表示します。

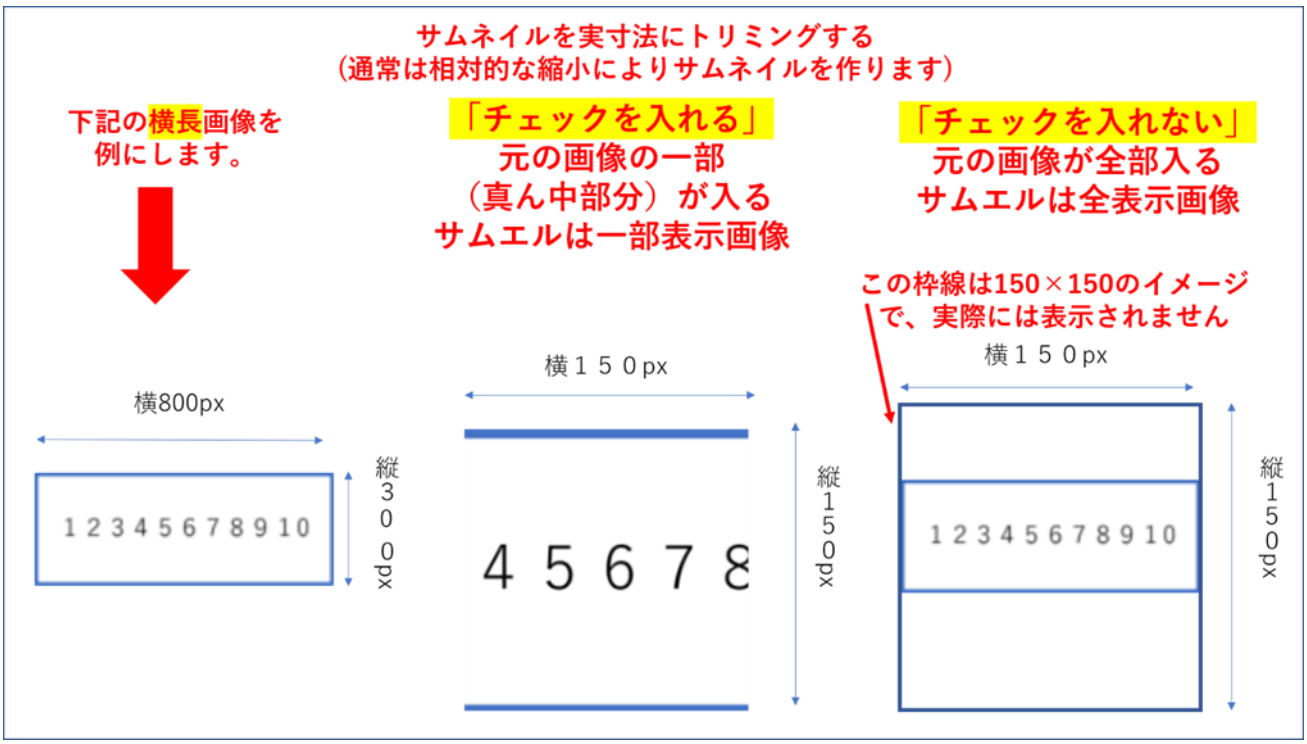
「チェックをいれない」と、画像は、「設定サイズの縦 150×横 150 内にすべての画像を、画像の元の縦横比を維持したまま縮小して表示」します。

サムネイルを実寸法にトリミングする（通常は相対的な縮小によりサムネイルを作ります）は、実際に「チェックする」「チェックしない」で試してみると良いと思います。

縦長画像「チェックを入れる」と「チェックを入れない」時のサムエルの画像の表示



横長画像「チェックを入れる」と「チェックをいれない」時のサムエルの画像の表示



ただ、この設定は、設定してからアップロードした画像に適応されて、以前の設定でアップロードした画像には影響しません。

「中サイズ、大サイズ」

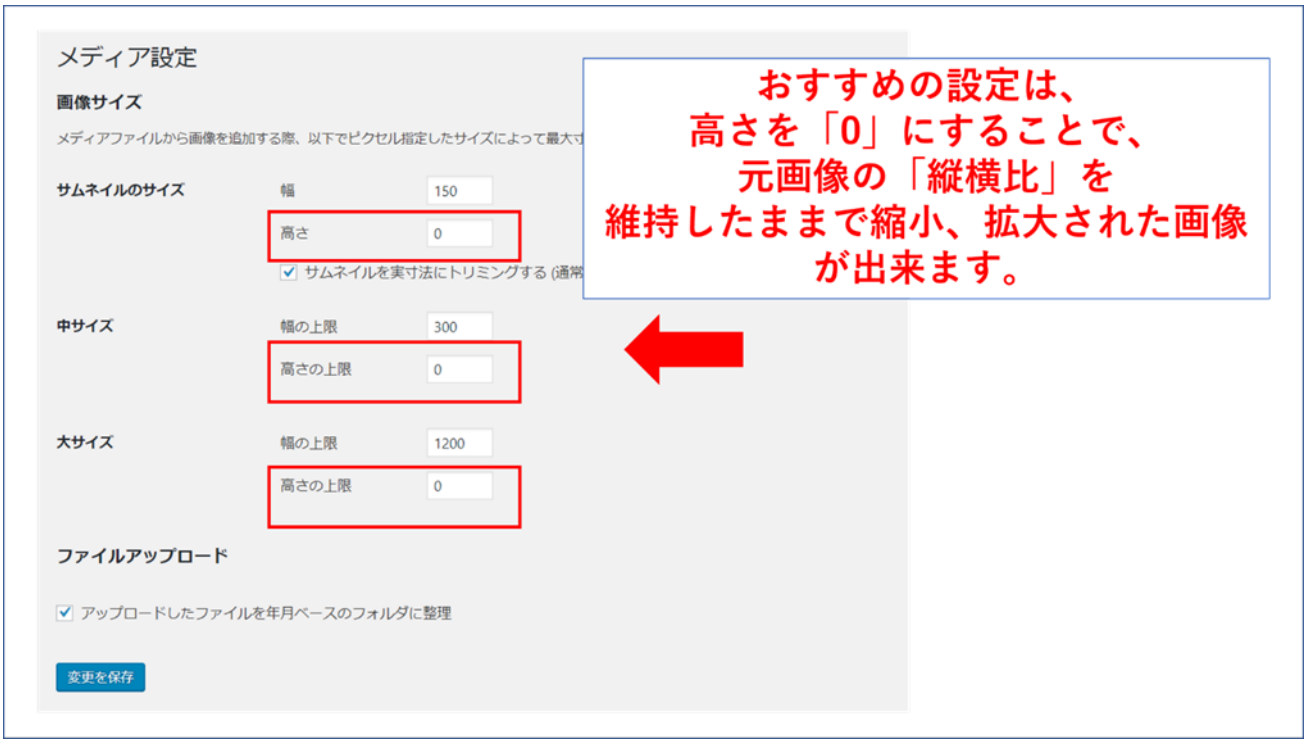
ここでは、アップロードした元画像に対して、「中サイズ、大サイズ」の指定が出来ます。

WP のメディアを挿入する、ここで、表示されて選択することが出来ます。

ただ、この画像のサイズの設定は、設定した縦と横の px 通りにはならず、元の画像の縦横比を維持したまま、縦と横に設定したどちらかの px に合わせて縮小、拡大されます。

実際に、数値を入力して試してみるとよくわかります。

また、現在の WP テンプレートのほとんどは、画像をフルサイズで、投稿に挿入しても、ブログのコンテンツ幅（横幅）に自動で合わせて表示してくれます。賢威も自動で調整してフルサイズ画像も、コンテンツ幅に合わせて表示してくれます。

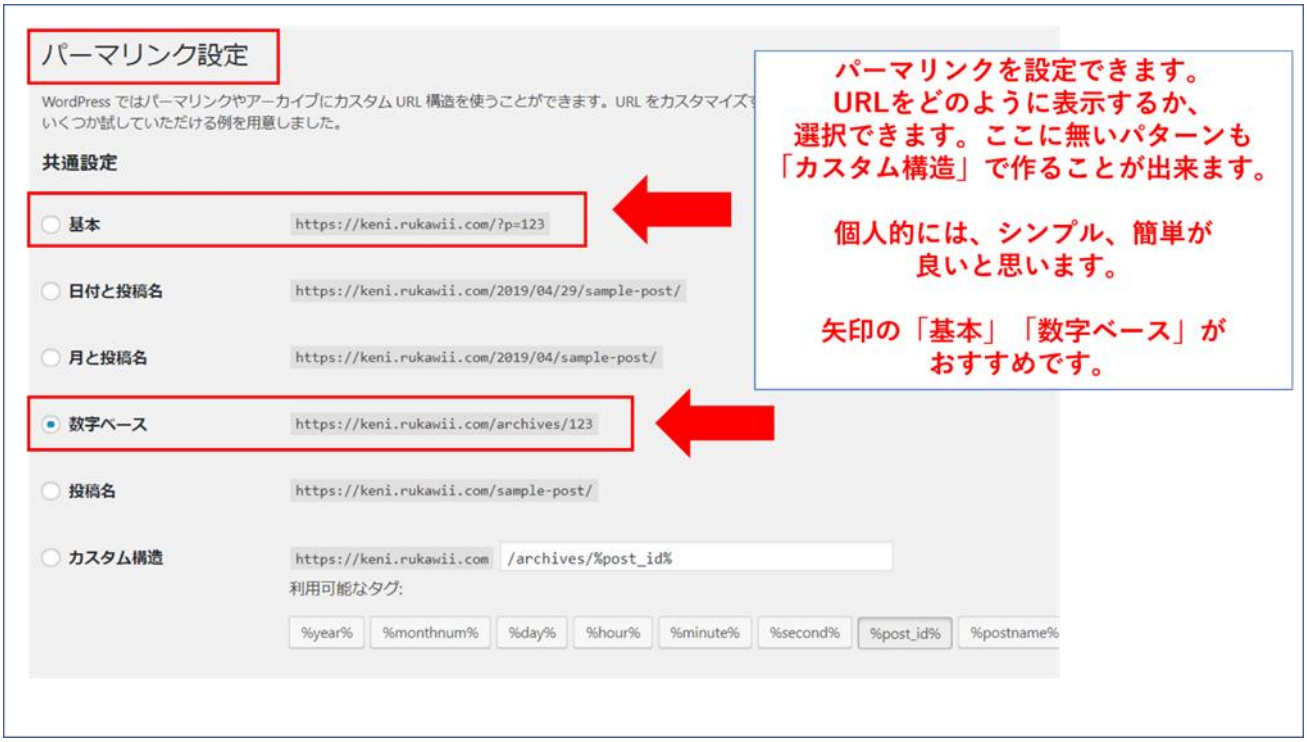


縦を「０」にすることで、横幅に合わせて、元の画像の縦横比を維持したまま縦幅が自動で長さを変えてくれます。縦長の画像を多用する方にはおすすめです。

「ファイルアップロード」

画像を収納している「メディアのライブラリ」にアップロードした年、月、日を順番として並び替える機能です。デフォルトの「アップロードしたファイルを年月ベースのフォルダに整理」にチェックするが一般的に使いやすいと思います。

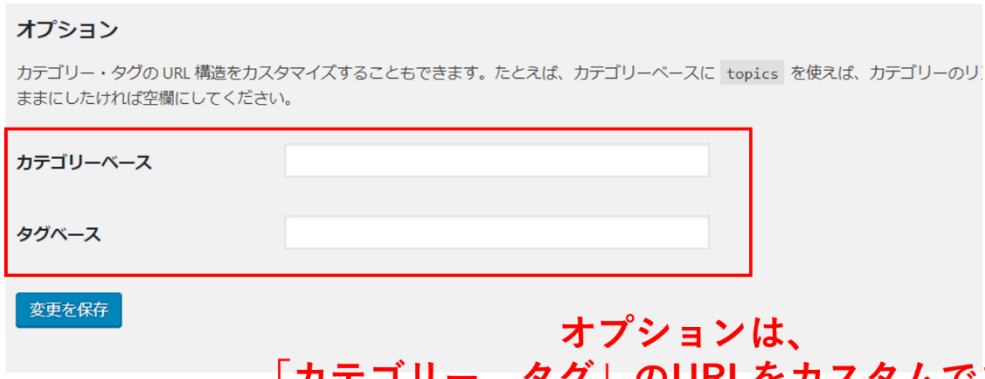
設定　→パーマリンク設定



ブログの個別記事等の URL をどのように表示するか設定できます。カスタム構造で「カテゴリー」「投稿記事タイトル」を表示させることも出来ます。しかし、日本語 URL は長くなりすぎることがあるので、個人的には、記事タイトルが入らない、日本語の URL にならないシンプルをおすすめしています。

ただ、一度決めたパーマリンク設定は、途中で変更してしまうと、良くないので（内部リンク等も変更しなければならなくなる、個別記事の URL がすべて変更になってしまう）途中では変更するのはおすすめしていません。

パーマリンク設定　→オプション



オプションは、
「カテゴリー、タグ」のURLをカスタムできます。

私のブログの「カテゴリー、タグ」場合
https://cocoon.rukawii.com/archives/category/・・・
https://cocoon.rukawii.com/archives/tag/・・・
Category、tagの部分を変更することが出来ます。

ブログのカテゴリーとタグの URL を変更できます。

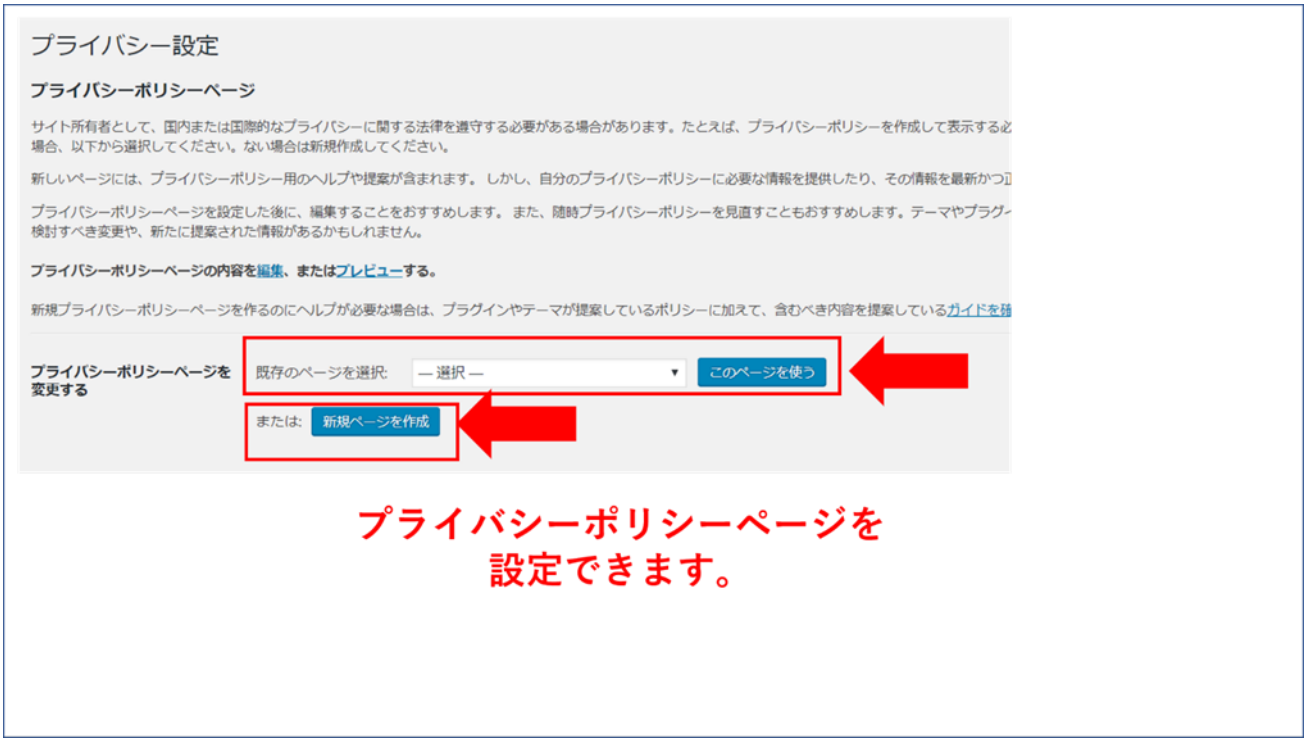
例えば、私のブログの場合ですが、
（パーマリンクは「数字ベース」に設定しています）

カテゴリーベースの空欄に「test」を入力すると、URL が、
https://cocoon.rukawii.com/archives/category/・・・が、
https://cocoon.rukawii.com/test/・・・に変更されます。

タグベースの空欄に「test2」を入力すると、URL が、
https:// cocoon.rukawii.com/archives/tag/・・・が、
https:// cocoon.rukawii.com/test2/・・・に変更されます。

ここは、特別な理由が無い限りデフォルトの設定で良いと思います。

設定 →プライバシー設定



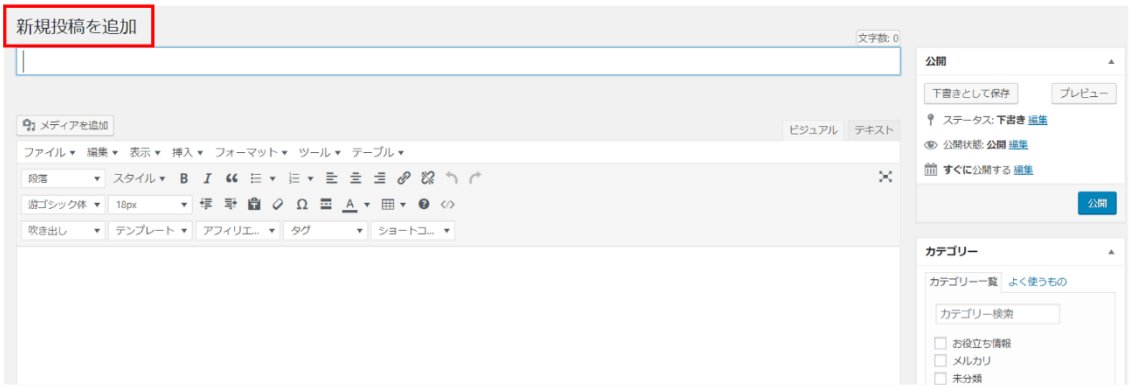
あらかじめ WP に付属しているプライバシーポリシーページを使うこともできまが、しかし、アドセンスのプライバシーポリシーを作成するときには、固定ページで自分で作成する「プライバシーポリシーページ」をおすすめしています。

投稿　→投稿一覧

投稿一覧が表示されます。

投稿した記事の一覧が表示されます。固定ページは「固定ページ一覧」で表示されます。

投稿　→新規追加　記事の新規投稿が出来ます。



記事を新規で投稿できます。

投稿　→カテゴリー

名前　→カテゴリーの名前を入力します。

スラッグ　→カテゴリーのスラッグ（半角英数字）入力します。

親カテゴリー　→新規で作るカテゴリーに親カテゴリーがある時に選択します。

説明　→カテゴリーについての説明文で、ブログには表示されません。メモと同じです。

投稿　→タグ

名前　→タグの名前を入力します。

スラッグ　→タグのスラッグ（半角英数字）入力します。

説明　→タグについての説明文で、ブログには表示されません。メモと同じです。

メディア　→メディアライブラリ

メディアライブラリ

ここでは、画像のアップロード、画像の収納が出来ます。

メディアでは、画像のアップロード、メディアライブラリでは、「画像の一覧」が表示されます。ここで、画像に情報を設定できます。

画像には、アップロードした時に、

ファイル名

ファイルタイプ

更新日

ファイルサイズ

サイズ

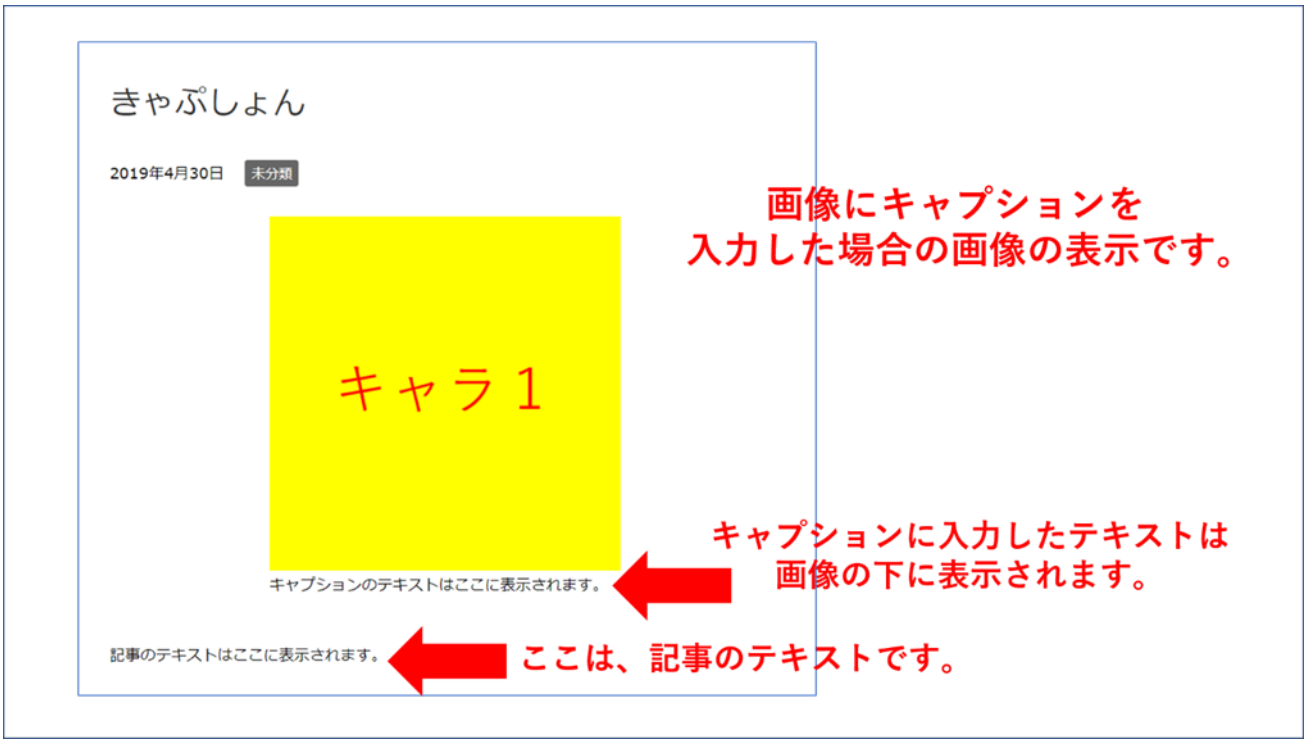
の情報が与えられます。

そして、画像には、さらに情報を設定できます。

URL は、WP メディアライブラリにアップロードされた場所を表しています。

タイトルは、画像にタイトルを付けることができます。アップロードした時の「ファイル名」が自動でタイトルになります。変更したい時には、ここで変更します。

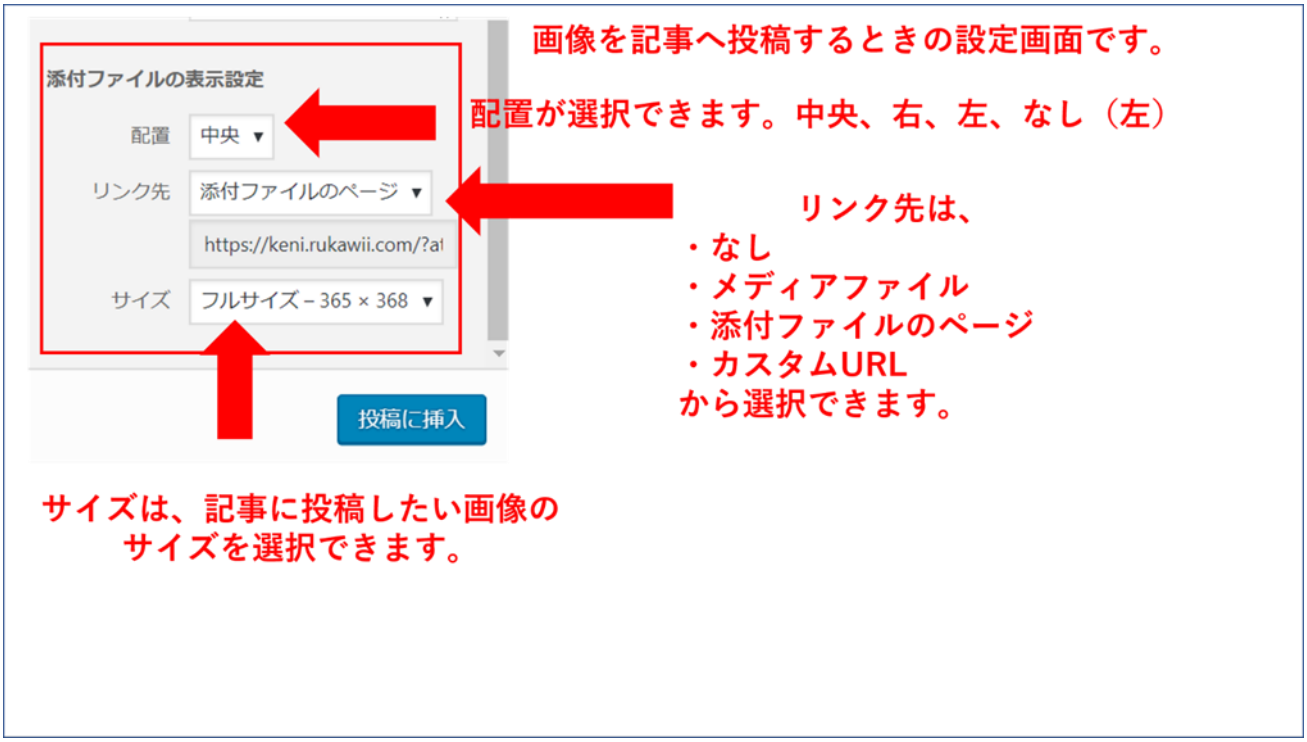
キャプションは、画像が記事に投稿され表示されるときに、画像と一緒にテキストが付属して表示されます。



代替テキストは、画像が表示されなかった時に、テキストとして表示されます。また、検索エンジンは、画像を認識できないので、HTML で表される alt="代替テキストはここに入る"を見て、画像を認識します。画像でも SEO 的にアピールできます。

説明は、記事には表示されませんが、ブログ管理者が、画像に対して、説明を書き込むことが出来ます。これは、画像が多くなり、また画像を整理するときに使われるなど、使い方はいろいろあります。

また、画像を記事に挿入するときには、表示を設定することができます。



配置：「中央・左・右・なし（＝左）」に配置を設定できます。

リンク先：

・なし

・メディアファイル

・添付ファイルのページ

・カスタム URL

の４つから選択できます。

・なし：画像を表示させるのみ。

・メディアファイル：画像をクリックすると、画像のみが表示される。

・添付ファイルのページ：記事の画像のみが表示されるページが表示される。

・カスタム URL：画像にリンクさせたい URL を付けることが出来る。

サイズは、サムネイル・中サイズ・大サイズ・フルサイズから選択できます。

賢威テンプレートは、フルサイズで投稿しても、自動で画像は、コンテンツ幅に縮小されます。

固定ページ

固定記事の一覧が表示されます。
私のブログでは
「グローバルメニューに表示する、お問い合わせ・サイトマップ・プライバシーポリシー」を
固定ページで作成しています。

固定記事の新規追加もできます。

固定ページは、普通の記事とは異なり、例えば、グローバルメニューにリンクさせる、「お問い合わせ」「サイトマップ」「プライバシーポリシー」などを作ります。トップページにも使われます。

コメント

コメントの一覧が表示されます。
承認待ちのコメント（ここで承認できます）
スパムコメントなどが一目で分かります。

コメントの一覧が表示されます。承認待ちコメントの承認作業もここで行います。

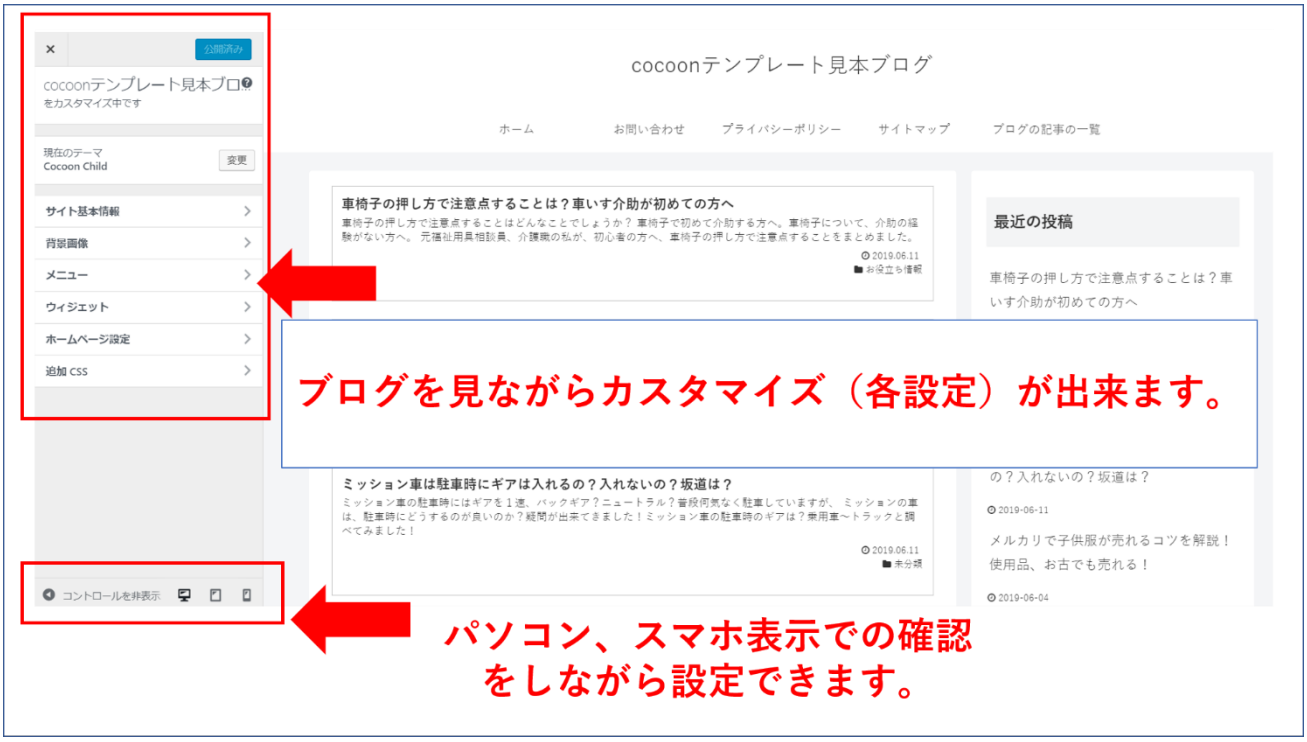
外観　→テーマ

アップロードした WP のテンプレートのテーマの一覧が表示されます。

ここで、テンプレートのテーマをアップロードもできます。

外観　→カスタマイズ

ブログを見ながら、各種の設定が出来ます。



外観　→ウィジェット

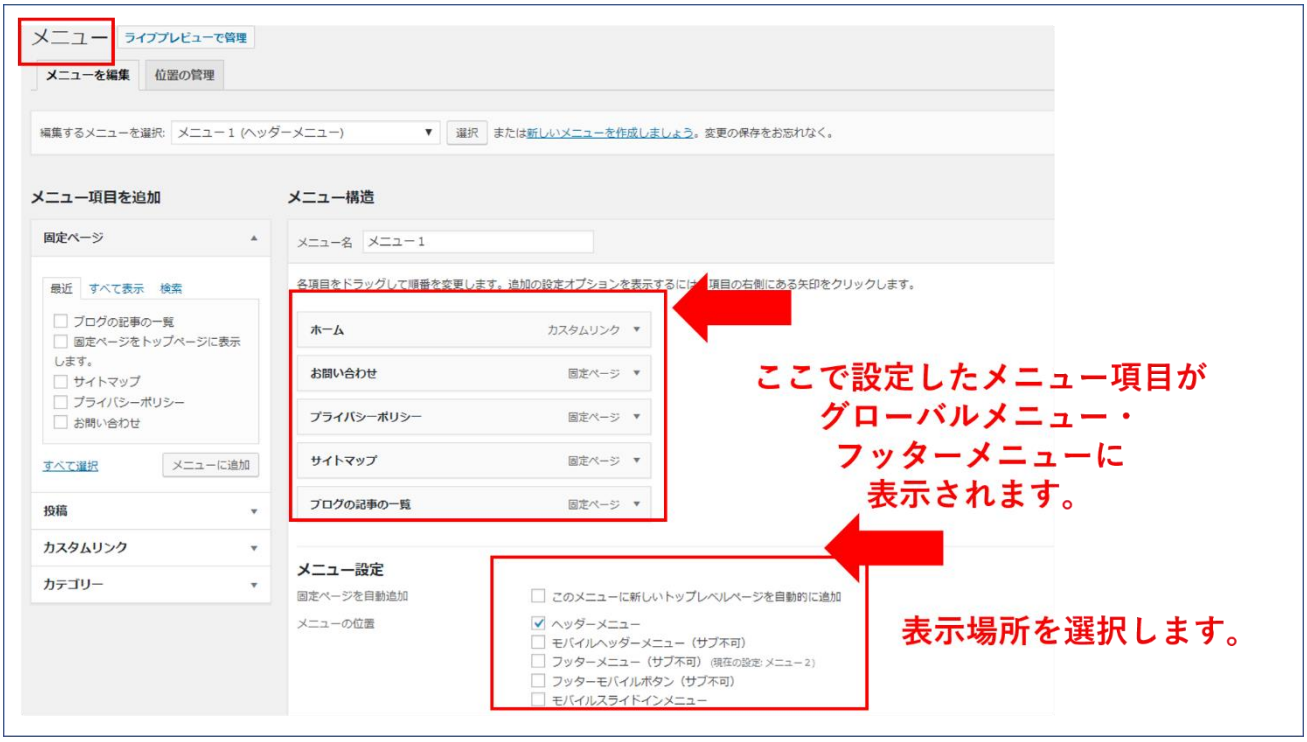
ウィジェット、サイドバーの設定が出来ます。

左側にあるウィジェットから好きなものを選らんで、ドラッグして右のエリアに追加します。各ウィジェットの細かな設定もここから出来ます。

ウィジェット＝サイドバー
の設定が出来ます。
右にある「各種のウィジェット」からドラッグして左に追加します。

外観　→メニュー

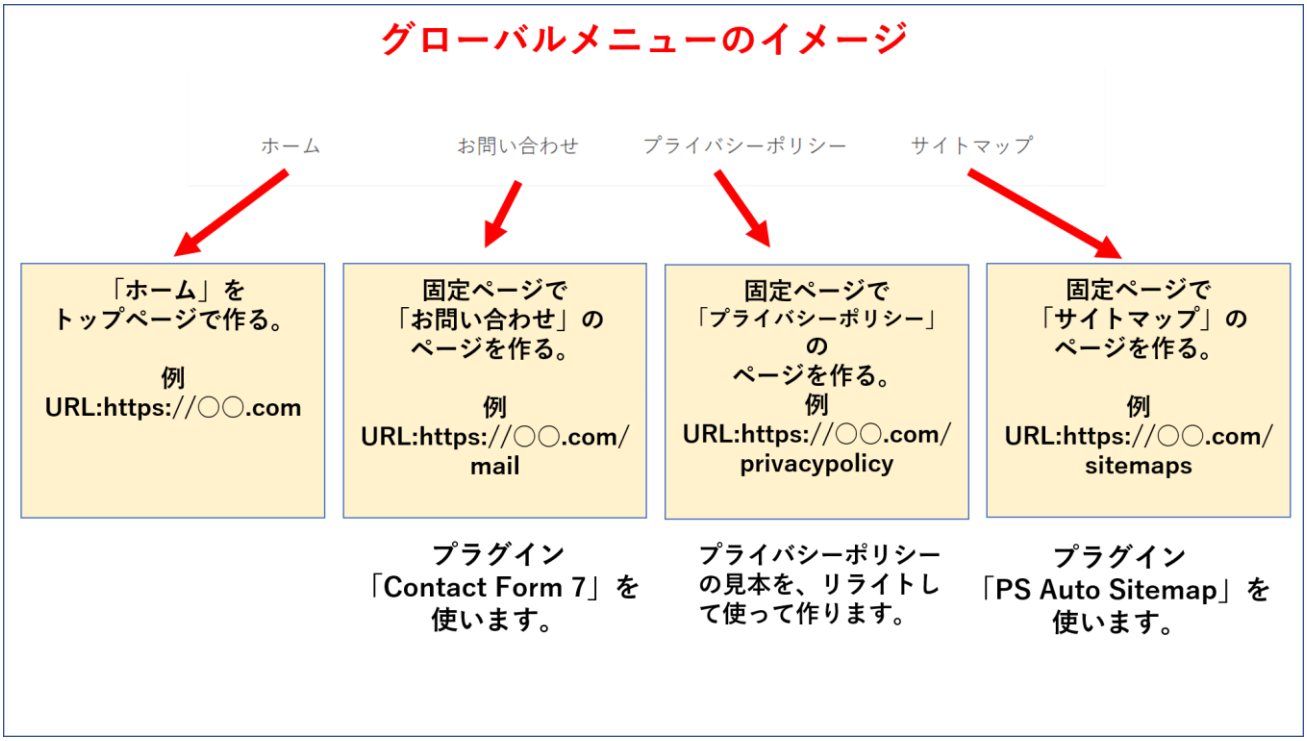
詳しくは「③Cocoon グローバルメニューの作成の説明書」をご覧ください。

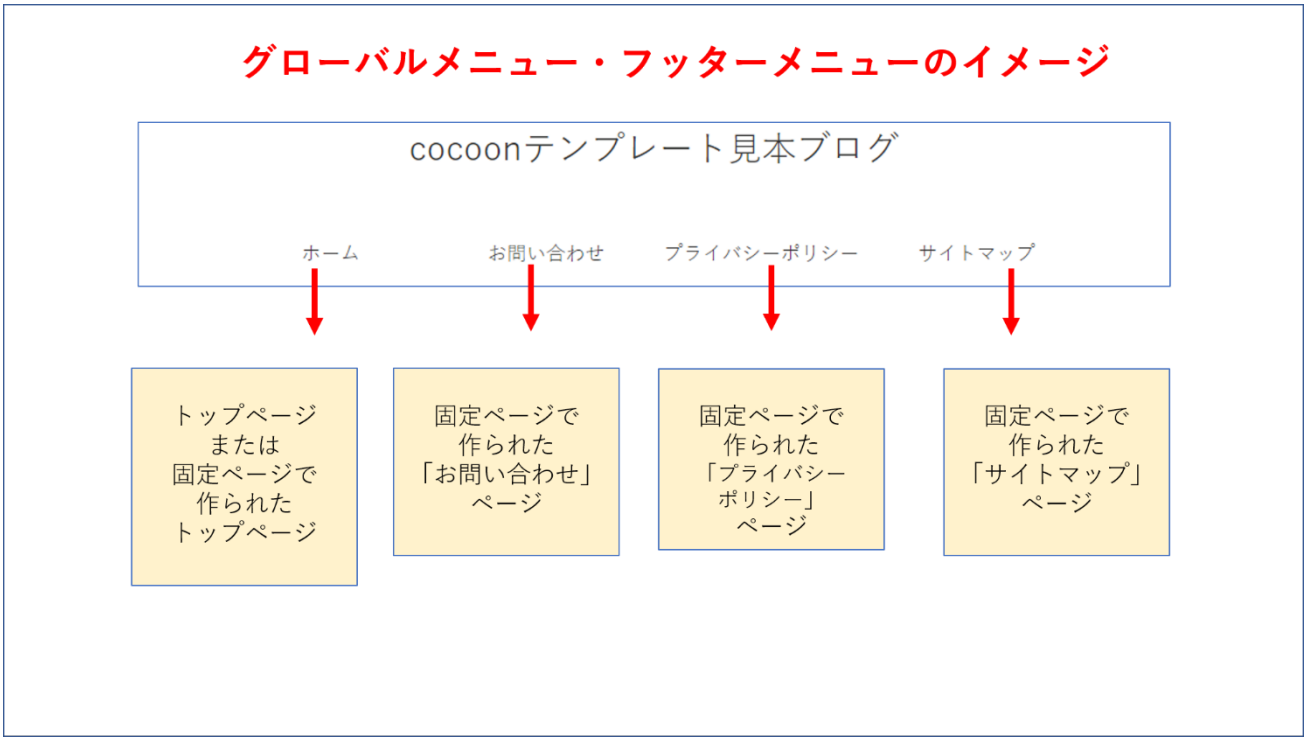


グローバルメニュー・フッターメニューに表示させるメニューの設定を行います。

グローバルメニュー・フッターメニュー

グローバルメニュー・フッターメニューの構造は、固定ページをリンクして作られています。





グローバルメニュー・フッターメニューは、固定ページの URL（固定ページには個別記事と同じで URL がある）でリンクしています。また、リンク先を、他のブログ、サイトにリ

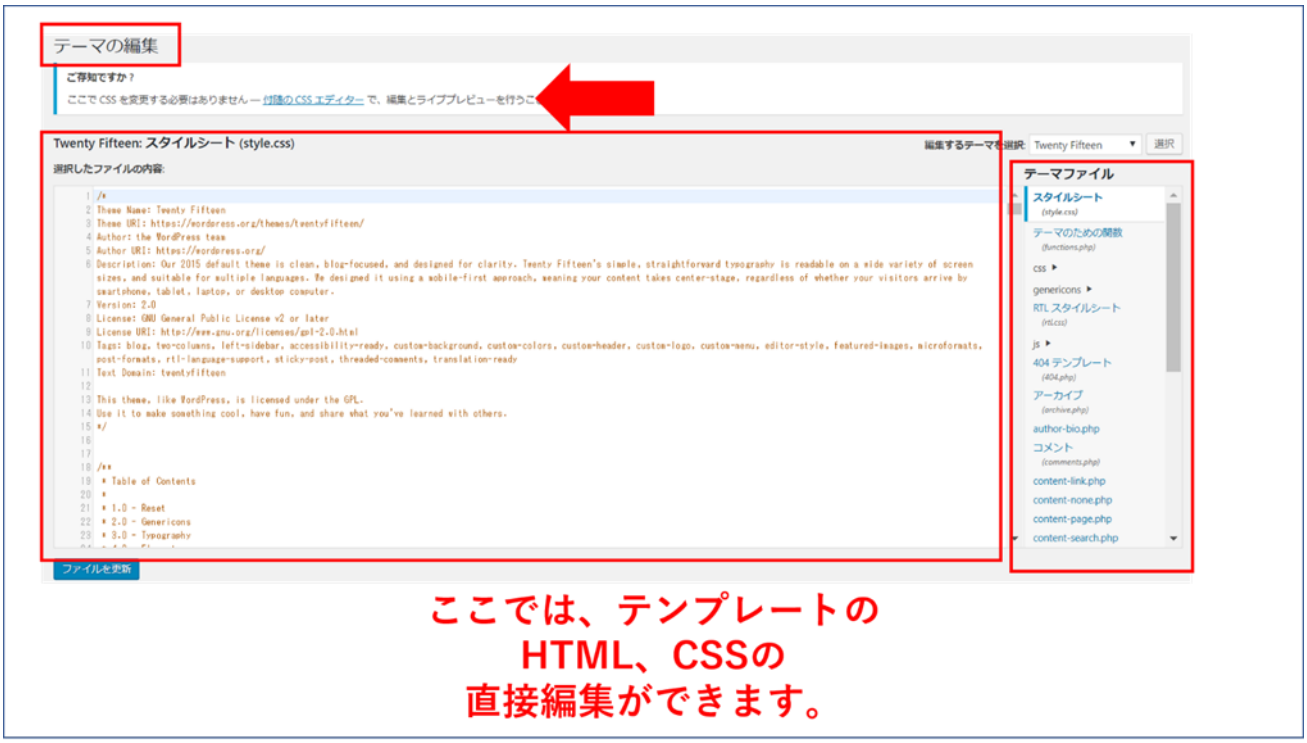
ンクすることもできます。一般的にグローバルメニューの「ホーム」はブログのトップページにリンクされています。

外観　→ヘッダー、背景

ブログを見ながらヘッダーと背景を設定できます。

外観　→テーマエディター

テーマの編集、テーマエディターでは、直接テンプレートの HTML、CSS を編集することが出来ます。編集するときは、一度、元のソース（データ）をメモ帳等に張り付けて（バックアップを取っておく）おいて、もしも、編集でバグ、画面が表示されなくなる恐れもあるので、バックアップを取ってから、編集すると安全です。

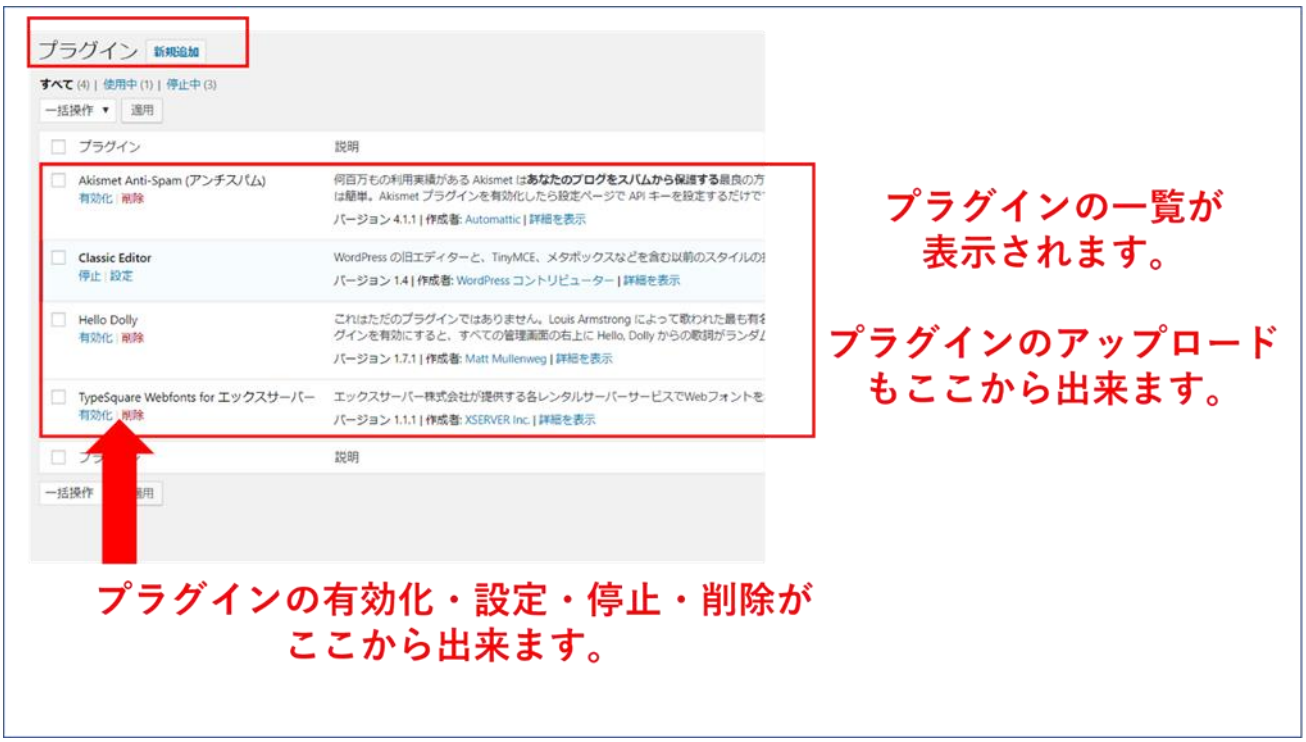


上記画像のテーマは、「Twenty Fifteen」です。

プラグイン

インストール済みのプラグインの一覧が表示されます。

プラグインのアップロードが出来ます。プラグインの有効化・設定・停止・削除ができます。



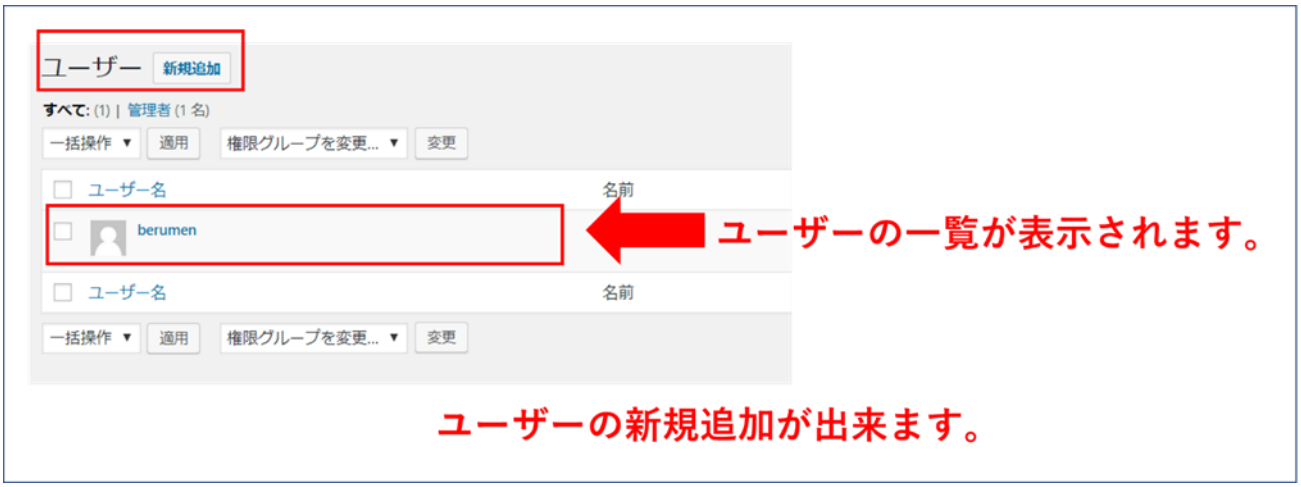
詳しくは「②Cocoon テンプレートのプラグインについての説明書」をご覧ください。

プラグイン　→プラグイン編集

プラグインの編集ができます。設定ではなくプラグインの機能を直接編集できます。

各プラグインの機能の編集ができます。

ユーザー

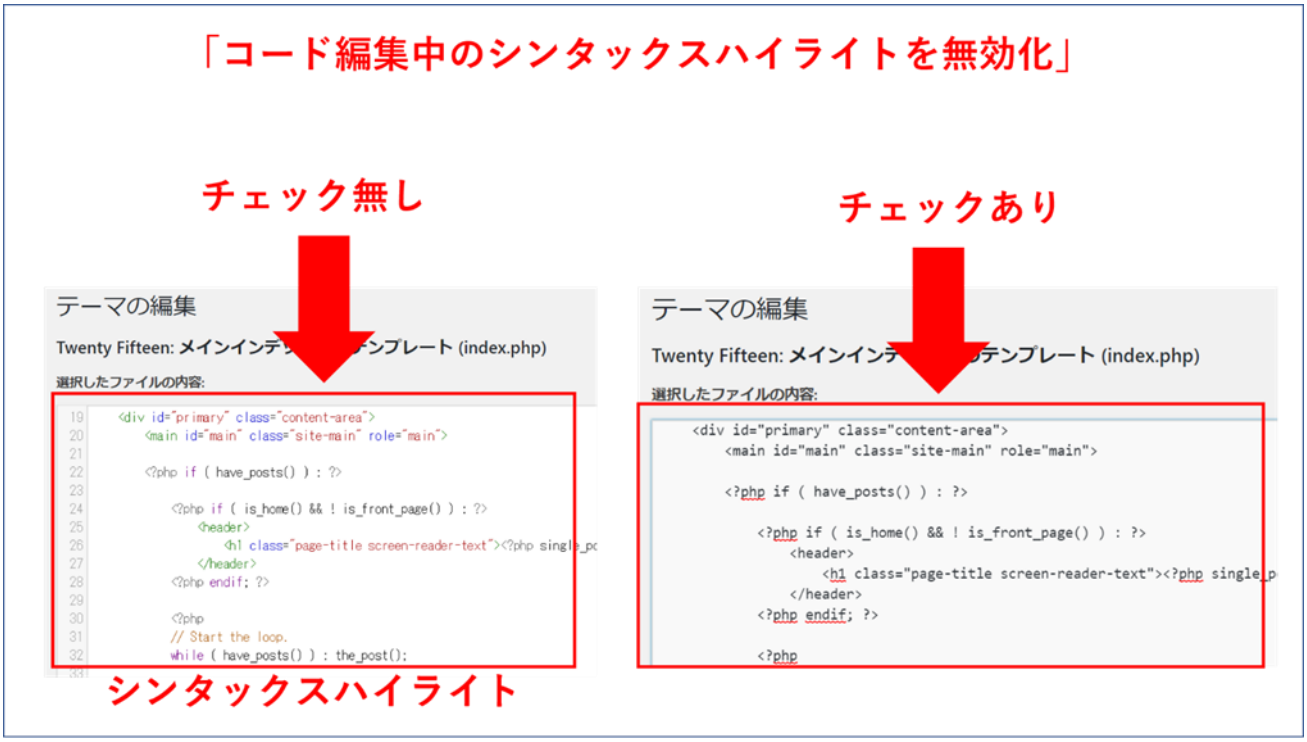


ブログのユーザーの新規追加が出来ます。ユーザーの権限の変更もここでできます。

ユーザー　→あなたのプロフィール

「ビジュアルエディター」→ビジュアルリッチエディターを使用しないとは、記事の投稿するときのテキストエディタで、「ビジュアル」か「テキスト」が選べますが、ここで、「ビジュアルリッチテキストエディターを使用しない」にチェックすると、表示されなくなります。

シンタックスハイライト　→コード編集中のシンタックスハイライトを無効化



テーマの編集画面で、シンタックスハイライトの有効・無効が選択できます。

管理画面の配色

ここは、管理画面（ダッシュボード）の背景画面の色が変わります。

「キーボードショートカット」→「コメントモデレーション用のキーボードショートカットを有効にする」

ここでは、コメント一覧画面での操作（承認・ゴミ箱行きなど）を一括して行えるショートカットを有効・無効にできます。コメントが少ない時は良いのですが、コメントが増えてくると、一括して操作すると手間が省けます。詳しくは、こちらから

キーボードショートカット

https://wpdocs.osdn.jp/Keyboard_Shortcuts

ツールバー　→サイトを見るときにツールバーを表示する

サイトを表示した時に、ダッシュボードのツールバーを表示するか、表示しないか選択できます。個人的には、すぐにダッシュボードに行けるので、「表示する」がおすすめです。

言語

WP の言語を選択します。サイトデフォルトで良いです。

ブログ上での名前の表示方法が選べます。
メールアドレスも変更できます。

「名前」→「ユーザー名」

WP インストール時に登録したユーザー名は変更できません。

名前、姓

好きな名前、姓を入力できます。ニックネーム可能です。

ニックネーム

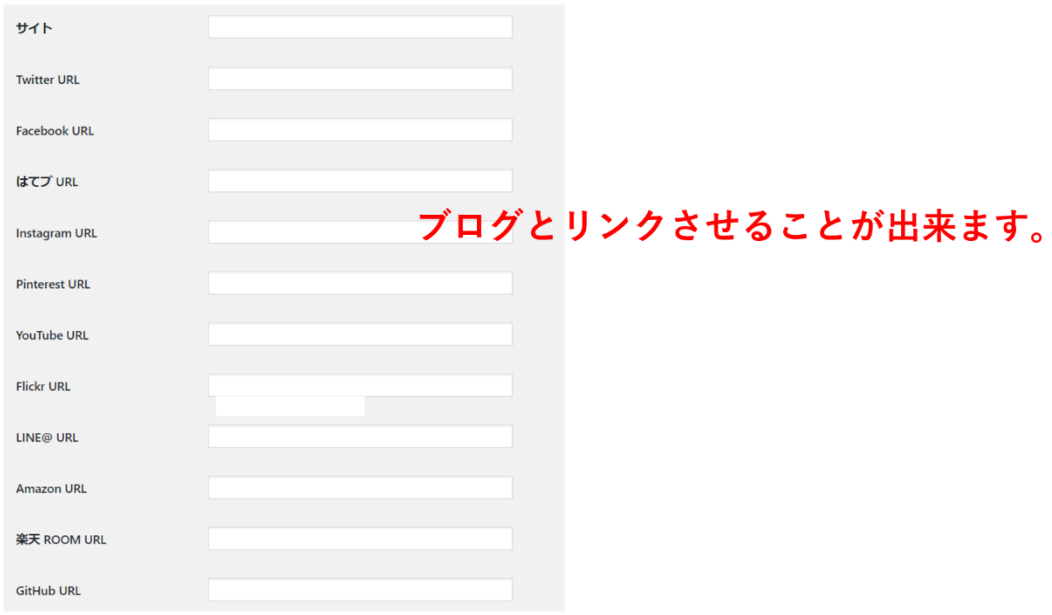
ここはユーザー名で良いですし、違う名前でも良いです。

ブログ上の表示名

ブログで表示する名前を「ユーザー名」、「名前・姓」、「ニックネーム」から選ぶことが出来ます。

連絡先情報

メールアドレスの変更が出来ます。



サイト

あなたの運営している見せたいサイトがあれば、入力します。

あなたのブログと連動出来ます。

「あなたについて」→「プロフィール情報」

表示させるには、テンプレートの編集が必要です。

プロフィール写真

あなたのプロフィール写真が作れます。ここは、あなたのアバター画像になります。

「Gavatar」にアクセスして新規登録をしてプロフィール画像＝アバター画像を作りましょう。また、cocoon には、プロフィールを編集する機能があります。

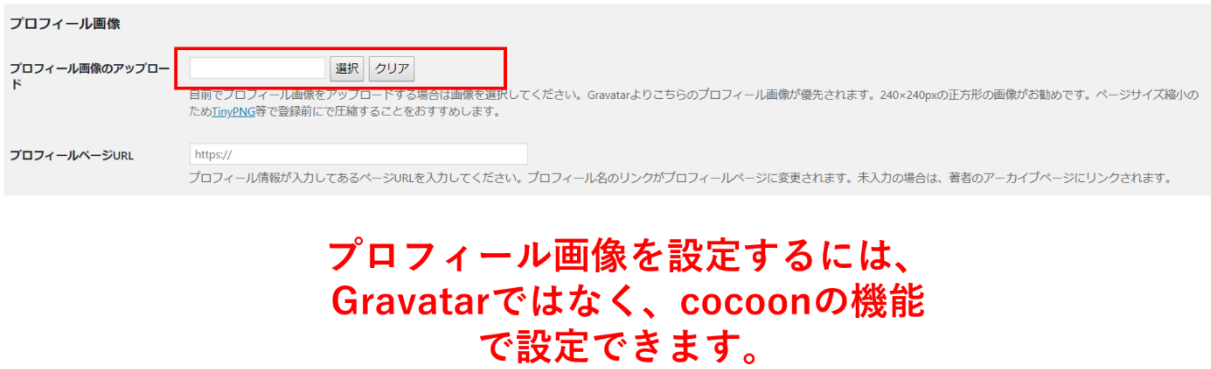
「アカウント管理」→「新しいパスワード」

WP にログインする時のパスワードの変更が出来ます。

セッション

セッション機能は、ログインしたすべてのパソコン、スマホ、その他の媒体で、今あなたが使っている媒体を除く、その他すべてをログアウトする機能です。

公共の媒体（誰でも使用できるパソコンなど）を使った時には、セッション機能を使うのがおすすめです。



プロフィール画像を設定するには、Gravatarではなく、cocoonの機能で設定できます。

プロフィール画像のアップロード　→ワードプレスは、プロフィール画像を、基本 Gravatar で編集しますが、cocoon には、プロフィールを編集する機能があります。

プロフィールページ URL

投稿者を表示した時の、投稿者のリンク先を設定できます。

Cocoon 設定　→本文　→投稿情報表示設定から投稿者を表示、非表示の選択が出来ます。

ツール　→利用可能なツール

「インポート」

外部からのデータを WP に入れ込む（取り込む）ことが出来ます。

「エクスポート」

WP のデータを取り出すことが出来ます。

「個人データのエクスポート」

WP ブログに訪れたユーザーのデータをエクスポート、取り出すことが出来ます。

「個人データの消去」

WP ブログに訪れたユーザーのデータを消去できます。

以上が、ワードプレスの各種設定の説明になります。

cocoon でブログの土台を作る時に、各設定の意味が分からない時に参考にしてください。

ベルメンエア
アドセンスリアライズ
https://muninget.com/